

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00636）

事務事業名称		オリンピック・パラリンピックの推進			款	02	項	01	目	01	事業	009	整理番号	009
現担当課名		スポーツ振興課			係名			オリンピック・パラリンピック			連絡先電話番号	1674	昨年度整理番号	
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	臨時事業	
事務事業の概要	事業開始	平成26年度									主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
	平成26年度担当課名	企画課									事業評価区分	一般		
	対象	区民			根拠法令等	(1) (2)		2020東京オリンピック・パラリンピック庁内連絡調整会議設置要領						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた機運醸成			活動指標	指標名（1） 指標名（2）		市内連絡調整会議の開催						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	各種イベント等の場を活用したオリンピック・パラリンピック競技大会の周知・啓発 区が実施するオリンピック・パラリンピック関連事業の調整・集約等			成果指標	指標名（1） 指標名（2）		区が実施する各種オリンピック・パラリンピック関連イベントへの参加者数						
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度					
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標（1）	1	回			0	5	5	0.0					
	活動指標（2）	2												
	成果指標（1）	3	人			0	3,596	4,000	0.0					
	成果指標（2）	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円			3,000	2,716	3,000	平成26年度 予算執行率(%)	90.5				
	(内)投資的経費等	6	千円			0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円			1,644	1,540	0						
	職員数	常勤職員数	8	人			0.75	0.87	0.25					
		再任用職員数	9	人			0.00	0.00	0.75					
		非常勤職員数	10	人			0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円			6,608	7,665	2,203					
		再任用職員分	12	千円			0	0	3,038					
		非常勤職員分	13	千円			0	0	0					
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円			9,608	10,381	8,241						
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15	円			0	2,076,200	1,648,200						
	財源	受益者負担分	16	千円			0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円			0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円			0	0	0					
その他の補助金等		19	千円			0	1,000	0						
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円			0	1,000	0						
差引：一般財源 (14-20)		21	千円			9,608	9,381	8,241						
受益者負担比率 (16÷14)	22	%			0.0	0.0	0.0							

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	009	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		2020年東京開催決定記念等パレード	1	回	1,004	
		企画展「1964東京オリンピックと杉並」	3,531	人	991	
		すぎなみフェスタ2014テント出展	2	日	100	
		ふれあい運動会パラアスリート実演・交流	2	人	26	
		その他（1964年東京大会報道写真パネル購入ほか）			595	
平成26年度の事業実施状況	(2) 事業実績	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について、様々なイベント等の場を活用し、開催気運の醸成を図りました。平成26年（2014年）は、1964年東京大会の開催から50周年であることから、郷土博物館と連携した分館企画展「1964東京オリンピックと杉並」の開催や、敬老会での1964年東京大会報道写真パネルの展示を行いました。また、「すぎなみフェスタ2014」には、児童青少年課と共同でテント出展するなど、幅広い世代にオリンピック・パラリンピック大会の素晴らしさを伝える取組を進めました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成25年9月に2020年のオリンピック・パラリンピック開催地が東京に決定するとともに、杉並区スポーツ振興計画「健康スポーツライフ杉並プラン」を策定しました。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	オリンピック・パラリンピック大会開催を契機に、杉並の魅力を発信するべきであるという声が寄せられています。				
	今後の予測	平成28年（2016年）、リオデジャネイロ大会が開催され、全国的に更なる気運の盛り上がり期待されており、区としても、これを好機と捉え事業を展開する必要があります。また、2020年東京大会に向けて、オリンピック・パラリンピック教育の充実も求められています。				
評価と課題	2020年東京大会開催を好機と捉え、産業施策や観光施策、スポーツの振興や国際理解などの教育事業の充実を図っていきます。 区内には大会競技会場はありませんが、例えばオリンピック・パラリンピックの練習会場としてエントリーできるかどうか検討を行うなど、区民の皆さんに大会を身近に感じていただけるよう、様々な場面を活用してオリンピック・パラリンピック大会の素晴らしさをアピールしていきます。					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方	庁内関連各課と連携し、2020年東京大会に向けた気運醸成に取り組みます。さらに、区が行うオリンピック・パラリンピック関連事業は、スポーツ振興や地域活性化などにつながることを望ましいことから、区内関係団体等との連携や杉並区のオリンピック・パラリンピックの取組の方向性を検討します。					

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00663)

事務事業名称		学校跡地活用事業			款	07	項	01	目	01	事業	010	整理番号	479	
現担当課名		生涯学習推進課			係名			管理係			連絡先電話番号	1665	昨年度整理番号		
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり			予算事業区分	新規事業	
事務事業の概要	事業開始	平成26年度													
	平成26年度担当課名	生涯学習推進課						事業評価区分			一般				
	対象	旧杉並区立新泉小学校の利用者			根拠法令等	(1)	杉並区公有財産管理規則			(2)	杉並区長の権限に属する事務の一部を委任する規則				
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	杉並和泉学園に統合となり、平成27年3月に廃校となる新泉小学校の跡地を有効活用する。			活動指標	指標名(1)	活用方法に関する地域への説明会等実施回数			指標説明	地域への説明会開催数+専修大学附属高校との打ち合わせ回数				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	国から有償貸付契約により借地している新泉小学校敷地内の一部の土地を区が取得する。新泉小学校の跡地を災害時のオープンスペースとして整備するとともに、防災備蓄倉庫の設置するなど、地域の防災機能の強化を図る。グラウンド、東側校舎について、防災拠点としての機能を十分に確保すること、また地域利用に十分配慮することを前提に、平成28年度から専修大学附属高校に貸付を行う。			成果指標	指標名(1)	専修大学附属高校との貸付契約による貸付額			指標説明	指標名(2)				
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	回			5	7	5	140.0						
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3				0	0	0	0.0						
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円			85,624	85,624	87,756	平成26年度予算執行率(%)	100.0					
	(内)投資的経費等	6	千円			0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円			0	0	87,756							
	職員数	常勤職員数	8	人			0.20	0.20	0.20						
		再任用職員数	9	人			0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人			0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円			1,762	1,762	1,762						
		再任用職員分	12	千円			0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円			0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円			87,386	87,386	89,518							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円			17,477,200	12,483,714	17,903,600							
	財源	受益者負担分	16	千円			0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円			0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円			0	0	0						
その他の補助金等		19	千円			0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円			0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円			87,386	87,386	89,518							
受益者負担比率(16÷14)	22	%			0.0	0.0	0.0								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 479

平成26年度の事業実施状況	内 容		規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	土地購入		919	m ²
(2) 事業実績	その他（ ） 区立施設再編整備計画に基づいて、統合後の跡地利用を図るため、国から有償貸付契約により借地している新泉小学校の一部の土地を購入しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並和泉学園（新泉和泉小中一貫校）の開校に伴い、平成27年3月末に廃校する新泉小学校敷地内の国から有償貸付契約により借地している一部の土地を、学校廃校後、施設再編整備計画に基づき有効活用を図る観点から27年3月に購入しました。
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	近隣の専修大学附属高等学校から、高校の教育活動に新泉小学校跡地の一部を借用したい旨の要請を受けました。賃借に当たっては、タウンミーティング等の実施を通じて地域に貢献するとの申し出もありました。 跡地の活用方法について、区民から、地域の防災機能の強化、グラウンド及び体育館を地域利用したい旨の要望がありました。
	今後の予測	平成27年9月からプールの解体工事、東側校舎の改修工事等を実施することになりますが、8月まで、跡地グラウンド部分を和泉中学校の代替運動場として活用するとともに、地域の団体に貸し出します。
評価と課題	防災機能の強化、福祉の向上など新泉小学校跡地の有効活用を図ることができます。今後、専修大学附属高校にグラウンド及び体育館の貸付を行う中で、地域利用に配慮することが課題です。	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	縮小
		II 事業の改善の方向性	対象外
	今後の進め方	平成27年度には、プールを解体し、災害時のオープンスペースとして整備するとともに、東側校舎1階及び体育館には防災会議室、防災備蓄倉庫を設置し、地域の防災機能の強化を図ります。 グラウンド及び体育館について、地域利用に十分配慮することを前提に、平成28年度から専修大学附属高校に貸付を行い、歳入の確保を図ります。	

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00479)

事務事業名称 科学館事業の運営			款 07	項 01	目 03	事業 010	整理番号 498				
現担当課名 生涯学習推進課		係名 科学館		連絡先電話番号 1665		昨年度整理番号 479					
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和44年度									
	平成26年度担当課名	生涯学習推進課		事業評価区分 一般							
	対象	区内在住・在勤・在学の児童・生徒、一般区民、区内団体、区立小・中学校教員		根拠法令等 (1) (2)	理科教育振興法第1条 杉並区立科学館条例						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	学校教育支援事業を通して、児童・生徒・教員が科学についての知識、理解を深める。 生涯学習支援事業を通して、児童・生徒を含む区民が科学に関する興味、関心を高める。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	年間延べ利用者数						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	児童・生徒・教員を対象に、理科移動教室、科学教室、科学創意工夫展等の学校教育支援事業を行う。 区民を対象に、区民科学教室、天文の夕べ、サイエンス・ウィーク等の生涯学習支援事業を行う。 友好都市「名寄市(天文台きたすばる)」との交流事業を行う。 区立図書館との連携事業を行う。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	1日当たり平均利用者数 利用者数÷開館日数						
区分		単位	平成24年度 実績	平成25年度 計画	平成25年度 実績	平成26年度 計画 (目標値)	平成26年度 実績	平成27年度 計画	平成26年度 対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1	人	36,831	32,363	33,095	33,100	32,804	5,840	99.1	
	活動指標(2)	2									
	成果指標(1)	3	人	125	110	113	112	111	20	99.1	
	成果指標(2)	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	34,124	38,793	31,049	31,462	31,306	0	平成26年度 予算執行率(%) 99.5	
	(内)投資的経費等	6	千円	1,628	0	0	0	0	0	特記事項 科学館におけるプラネタリウムや理科移動教室等科学教育に関する事業は平成26年度末をもって廃止した。これに伴い、平成27年度は職員を科学館に配置しないこととする。	
	(内)委託費	7	千円	5,193	8,309	1,817	2,070	2,032	0		
	職員数	常勤職員数	8	人	4.58	4.20	4.51	4.20	3.79		0.00
		再任用職員数	9	人	1.48	1.30	1.50	1.30	1.96		0.00
		非常勤職員数	10	人	16.00	16.00	15.68	14.61	13.68		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	39,846	36,246	38,921	37,002	33,390		0
		再任用職員分	12	千円	5,816	5,018	5,790	5,265	7,938		0
		非常勤職員分	13	千円	44,000	44,480	43,590	41,346	38,714		0
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	123,786	124,537	119,350	115,075	111,348	0		
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	3,317	3,848	3,606	3,477	3,394	0		
	財源	受益者負担分	16	千円	121	91	198	91	184		0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円	495	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	616	91	198	91	184	0		
差引:一般財源(14-20)		21	千円	123,170	124,446	119,152	114,984	111,164	0		
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.0			

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	498
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		理科移動教室運営	19,478	人	22,230
		科学教室開催	8,121	人	4,143
		科学創意工夫展開催	2,552	人	603
		科学教育調査研究	123	人	237
		その他(名寄市交流事業、理科指導者研修、施設利用ほか)			4,093
(2) 事業実績	<p>学校教育においては、小・中学生を対象とした理科移動教室や科学創意工夫展、友好都市である名寄市との自然体験交流事業等を実施し、生涯学習においては、区民科学教室、サイエンスウィークなどを実施しました。また、子供から大人までを対象にプラネタリウム投映を実施しました。平成27年度から学校や身近な地域施設で行う出前型事業の実施に向けて、済美教育センターとともに事業の計画及び準備に取り組みました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>昭和44年に科学教育センターとして開設し、区内の学校における科学教育の振興と充実を図るとともに、区民の科学的教養の普及・向上に努めてきました。平成14年に区民の科学に関する興味・関心にも応える生涯学習支援施設としての機能を強化するため、施設名を科学館と改め、区民向けの事業の充実を図りました。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>プラネタリウムを常時投映し、子ども向けの内容も組み入れてほしいとの要望があります。展示コーナーについては「小柴昌俊博士とニュートリノ天文学」の常設展示がありますが、それ以外にも新たな展示物を望む声があります。</p>			
	今後の予測	<p>ICTやデジタル技術の発達等を踏まえ、従来の来館型から身近な地域の学校施設等に出向いて事業を行う出前型・ネットワーク型の事業を展開します。これにより、広く子どもから大人まで世代を超えて身近な場所で科学に親しみ、生涯にわたって学び続けられるよう理科教育、科学教育の一層の充実を図ります。</p>			
評価と課題	<p>科学館では、区立小中学校における理科教育の振興、区民の科学に関する生涯学習施設として機能の充実に努めてきました。この科学館は築45年を経過し、施設・設備の老朽化が進む一方、学校の理科室の設備は整備されつつあります。今後は、様々な世代が身近な場所で科学に親しむことができるよう、従来の来館型から、身近な学校や地域施設に出向いて行う、出前型の事業に取り組むこと、また、常に最先端の科学を学べる環境を整備することが必要です。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	その他・対象外		
		II 事業の改善の方向性	対象外		
	今後の進め方	<p>杉並区立施設再編整備計画に基づき、杉並区立科学館は平成27年度末をもって閉館を予定しています。平成27年度は、学校教育においては済美教育センター、生涯学習においては社会教育センターを拠点として移動式プラネタリウム・天文台車を活用した出前授業や区内各所での天文学習会、科学博覧会などを実施します。また、こうした取組を着実に実施するとともに、次世代型の新たな科学教育の拠点づくりの検討を進め、広く子どもから大人まで世代を超えて身近な場所で科学に親しみ、生涯にわたって学び続けられるよう、理科教育・科学教育の一層の充実を図ります。</p>			

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00489)

事務事業名称		科学館の維持管理			款	07	項	01	目	04	事業	002	整理番号	509	
現担当課名		生涯学習推進課			係名			科学館			連絡先電話番号	1665	昨年度整理番号	489	
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和44年度													
	平成26年度担当課名	生涯学習推進課										事業評価区分	施設維持管理		
	対象	科学館の施設・設備の利用者			根拠法令等	(1)		杉並区立科学館条例							
						(2)		杉並区立科学館条例施行規則							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	科学館の施設・設備を良好な状態に保つことにより、利用者が安全で快適なサービスの提供を受けられるようにする。			活動指標	指標名(1)		年間開館日数							
					指標説明		年間延べ利用者数								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)			指標名(2)	指標説明										
	科学館の施設・設備が常時良好な状態になるように維持管理を行う。			成果指標	指標名(1)										
					指標説明										
				指標名(2)	指標説明										
					指標説明										
区分	単位	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	日	294	295	295	296	296	292	100.0					
	活動指標(2)	2	人	36,831	32,363	33,095	33,100	32,804	5,840	99.1					
	成果指標(1)	3													
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	31,364	31,502	31,493	31,622	31,619	21,968	平成26年度予算執行率(%)	100.0				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	21,310	21,110	21,103	21,688	21,687	17,145	科学館におけるプラネタリウムや理科移動教室等科学教育に関する事業は平成26年度末をもって廃止した。平成27年度は科学館の実験室や講堂の貸出しのみを行い、職員については生涯学習推進課施設担当が科学館長を兼務し、科学館の維持管理を行う。					
	職員数	常勤職員数	8	人	1.96	1.80	1.93	1.80	1.62	0.20					
		再任用職員数	9	人	0.79	0.70	0.76	0.70	1.74	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	17,052	15,534	16,656	15,858	14,272	1,762					
		再任用職員分	12	千円	3,105	2,702	2,934	2,835	7,047	0					
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	51,521	49,738	51,083	50,315	52,938	23,730						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	175,241	168,603	173,163	169,983	178,845	81,267						
	財源	受益者負担分	16	千円	34	45	38	43	76	76					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	34	45	38	43	76	76						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	51,487	49,693	51,045	50,272	52,862	23,654						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3						

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 509

平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託			
		光熱水費			8,034
		施設整備経費			1,417
		維持管理経費			728
		その他（ ）			
	(2) 事業実績	開設から45年が経過し、耐震改修は平成11年に実施済ですが建物の老朽化が顕著になっています。平成26年度は、冷温水発生機の修繕、消防設備煙感知機の交換修理等を行い、施設の維持管理や安全確保に努めました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	<p>施設・設備については日常的に点検を実施し速やかな対応を行うことにより良好な状態を維持してきましたが、老朽化が進んでいます。エレベーターの設置などバリアフリーへの要望に対しては、現在の建築基準法上応えられない状況にあります。</p> <p>26年度末をもってプラネタリウム投映、科学教育事業を実施せず、27年度は、実験室等の貸出し、展示室の開放のみの実施としますが、安全で快適にご利用していただけるように、引き続き施設・設備の保全に努めます。</p>	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00517)

事務事業名称		社会教育委員			款	07	項	05	目	01	事業	001	整理番号	541	
現担当課名		生涯学習推進課			係名			管理係			連絡先電話番号	1663	昨年度整理番号	517	
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成元年度													
	平成26年度担当課名	生涯学習推進課													
	対象	社会教育関係施設及び社会教育関係団体・指導者等区民			根拠法令等	(1)	社会教育法第15～18条								
						(2)	杉並区社会教育委員の設置に関する条例								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	社会教育団体への補助金交付に対する意見を述べたり、諮問に応じた答申や、調査・研究をもとに提言などを教育委員会に対して行うことにより、社会教育活動の向上、活性化を図る。			活動指標	会議開催回数									
				指標名(1)	延べ会議出席委員数										
				指標説明											
				指標名(2)											
				指標説明											
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者合計9名以内で構成し(任期2年)、社会教育の振興のための調査・研究などの活動を行い、必要な場合は教育委員会に対して答申や提言などを行う。			成果指標	NPO法人認証団体数										
				指標名(1)	「社会教育の推進」と「学術・文化・芸術又はスポーツの振興」の分野に関わるNPO法人認証団体数										
				指標説明											
				指標名(2)											
				指標説明											
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度	特記事項					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 回	6	12	7	12	6	12	50.0						
	活動指標(2)	2 人	40	108	47	108	70	108	64.8						
	成果指標(1)	3 団体	317	325	318	320	341	330	106.6						
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	825	1,559	999	1,824	1,140	1,866	平成26年度 予算執行率(%)	62.5					
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0							
	(内)委託費	7 千円	222	377	276	387	242	429							
	職員数	常勤職員数	8 人	0.80	0.80	0.92	0.90	0.90	0.90						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.08	0.10	0.10	0.10						
	人件費	常勤職員分	11 千円	6,960	6,904	7,940	7,929	7,929	7,929						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	222	283	283	283						
	総事業費	14 千円	7,785	8,463	9,161	10,036	9,352	10,078							
	単位あたりコスト	15 円	1,297,500	705,250	1,308,714	836,333	1,558,667	839,833							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計		20 千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源		21 千円	7,785	8,463	9,161	10,036	9,352	10,078							
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号 541			
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		社会教育委員の会議 開催回数	70	人	870
		社会教育委員の会議 会議録作成委託	12	時間	225
		通信費、事務費			35
		その他(託児世話人謝礼)			10
平成26年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>今年度は、生涯学習推進課の各施設を巡ったり社会教育関係団体との懇談したりした成果のもと、会議のスタイルを一時的にグループ討議のような形にしなが地域活動をめぐる課題の把握に努め、社会教育活性化のための意見交換をすすめました。その結果を現状認識・方向性と具体的な取組への意見としてまとめた報告書を作成しています。</p>			
		<p>社会教育委員の会議は、平成2年度に制度を発足以来、13期目を終わりました。これまで区民の生涯学習環境の整備や、社会教育関係団体等の活動支援など、区社会教育行政に対して提言や答申を行ったり、新たな教育ビジョン・同推進計画等における社会教育分野での取り組みに一定の方向性を示したりしてきました。なお、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の一部の施行に伴い、杉並区社会教育委員の委嘱の基準等を定める必要が生じたため、杉並区社会教育委員の設置に関する条例の一部改正を行いました。 社会教育活動に関わる区内NPO法人数 H15.3.31 104 H27.3.31 341</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>社会教育委員の会議は、平成2年度に制度を発足以来、13期目を終わりました。これまで区民の生涯学習環境の整備や、社会教育関係団体等の活動支援など、区社会教育行政に対して提言や答申を行ったり、新たな教育ビジョン・同推進計画等における社会教育分野での取り組みに一定の方向性を示したりしてきました。なお、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の一部の施行に伴い、杉並区社会教育委員の委嘱の基準等を定める必要が生じたため、杉並区社会教育委員の設置に関する条例の一部改正を行いました。 社会教育活動に関わる区内NPO法人数 H15.3.31 104 H27.3.31 341</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>区民の学習活動や関わる関連部局が多様になるなど、区民や地域の中に生涯学習社会がひろがりつつある中で、社会教育に対する認知度や関心がひろく薄まりつつある状況にもあります。このため、社会教育委員制度を活用し、区や地域の情報収集にあたり、提言等の作成や区民への周知をすすめるなど、発信力を高めていくことが望まれます。</p>			
	今後の予測	<p>施設再編計画等の進展等に伴い、社会教育関係施設をはじめとする区民の学習・教育環境にも変化が生じてきますので、学級・講座のようなスタイルではない新たなコミュニケーションの方法や手法を駆使して学びの場や機会を設定することが、従来にも増して必要になります。</p>			
評価と課題		<p>社会教育委員は、社会教育関係機関や社会教育関係団体等との意見交換を通じて、地域づくりに果たす生涯学習・社会教育分野の役割をまとめていますが、これからは、地域社会がどう変わり、地域の人々は何を求めているのか。未来志向で、地域の現場の人たちが何を求めているかを模索する必要があります。</p>			
中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
今後の進め方		<p>平成27年度が改選期にあたるため、新たな委員の選出にあたっては、幅広い年齢層の区民からの意見が得られるように工夫します。また、社会教育委員の会議では、より豊かな教育の実現に向けた課題の抽出や解決のための施策活用等の検討をすすめ、社会教育の充実に結び付けていきます。</p>			

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00518)

事務事業名称		生涯学習振興室の維持運営			款	07	項	05	目	01	事業	002	整理番号	542	
現担当課名		生涯学習推進課			係名			管理係			連絡先電話番号	1662	昨年度整理番号	518	
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成 7年度													
	平成26年度担当課名	生涯学習推進課											事業評価区分	一般	
	対象	区民一般			根拠法令等	(1)		学校教育法第137条							
						(2)		杉並区立学校の開放に関する規則							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	区民及び団体等に小学校の余裕教室を有効活用した生涯学習振興室(ゆうゆうハウス)を設置することにより、生涯学習と社会教育活動の場を提供する。			活動指標	指標名(1)		会議室利用回数							
					指標説明		個人学習室利用者数								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	生涯学習振興室(愛称:ゆうゆうハウス)2所の運営 対象:個人及び団体 生涯学習の場として個人学習室を、社会教育活動の場として会議室を設置 ・西田:個人学習室1室(42席)、会議室2室 ・杉九:個人学習室1室(36席)、会議室3室(分割使用) 西田及び杉九の会議室は平成27年1月から学校開放事業の会議室に移行			成果指標	指標名(1)		会議室利用率								
					指標説明		会議室利用回数÷貸出コマ数								
					指標名(2)		個人学習室利用率								
					指標説明		個人学習室利用者数÷個人学習室席数								
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 回	1,032	1,600	1,022	1,600	857	1,600	53.6						
	活動指標(2)	2 人	20,607	26,300	19,208	26,300	20,873	26,300	79.4						
	成果指標(1)	3 %	22	30	21	30	17	30	56.7						
	成果指標(2)	4 %	79	80	74	80	79	80	98.8						
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	18,116	18,832	18,181	19,778	19,307	21,608	平成26年度予算執行率(%)	97.6					
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	16,096	16,464	16,106	17,223	17,004	17,266							
	職員数	常勤職員数	8 人	0.10	0.10	0.21	0.20	0.24	0.20						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.14	0.20	0.20	0.20						
	人件費	常勤職員分	11 千円	870	863	1,812	1,762	2,114	1,762						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	389	566	566	566						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	18,986	19,695	20,382	22,106	21,987	23,936							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15 円	18,397	12,309	19,943	13,816	25,656	14,960							
	財源	受益者負担分	16 千円	27	36	14	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	27	36	14	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21 千円	18,959	19,659	20,368	22,106	21,987	23,936							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	542	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費(千円)
		ゆうゆうハウス2施設の運営業務委託	16,176	時間	16,087	
		光熱水費	2	所	1,414	
		清掃業務委託	762	m ²	400	
		電子複写機使用料	2	台	287	
		その他(電話料、機器保守委託等維持管理費)	1,119			
	(2) 事業実績	ゆうゆうハウス2施設の運営業務委託、維持管理及び物品の整備等を行い、区民の学習活動等を支援しました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	個人学習室利用率(個人学習室利用者数/個人学習室席数) (西田:H11~13 90%超、H25 70.3%、H26 73.4%) (杉九:H11~13 100%超、H25 78.0%、H26 86.5%) 会議室利用率(会議室利用回数/貸出コマ数) (西田:H12~14 30%超、H25 17.7%、H26 10.7%) (杉九:H12~14 30%超、H25 23.7%、H26 22.6%) 会議室は平成27年1月から学校開放事業の会議室に移行				
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	他の地域における学習の場の設置、空調機の改善・パソコン等電子機器利用のための設備(電源・LAN他)を整備してほしいなどの要望が寄せられています。				
	今後の予測	児童数の変化などにより、学校によっては教室が不足することが予測されることから、中・高校生の居場所づくりなどとも連携して、余裕教室の活用方法や施設の在り方について検討する必要があります。				
	評価と課題	個人学習室は、ここ数年70%台の利用率で推移しており、学校施設の有効利用や公共の学習スペースとして一定の成果をあげています。 今後は、児童数の変化や施設再編計画など小学校を取り巻く環境の変化を踏まえ、余裕教室の活用方法や施設のあり方を検討していく必要があります。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小			
		II 事業の改善の方向性	実施主体の見直し・対象の見直し			
	今後の進め方	学校を取り巻く環境や生涯学習に対するニーズの変化等を踏まえながら、中・高校生の居場所づくりや学校施設と学校跡地の活用などと連携して、余裕教室の活用方法や施設のあり方を検討していきます。				

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00519)

事務事業名称 社会教育の振興			款 07	項 05	目 01	事業 003	整理番号 543				
現担当課名 生涯学習推進課		係名 管理係		連絡先電話番号 1662		昨年度整理番号 519					
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成 8年度		主要事業(区政経営報告書掲載事業)							
	平成26年度担当課名	生涯学習推進課		事業評価区分 一般							
	対象	社会教育活動を行う個人及び団体		根拠法令等 (1) (2)	杉並区教育委員会後援等名義使用承認事務取扱要綱 杉並区生涯学習活動の指導者傷害保険取扱要綱						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	区民の生涯学習活動の活性化と、社会教育関係団体の活動を支援するとともに、区内の高等教育機関と行政や地域との連携協働を推進する。 次世代を担う子どもが、名寄市での自然交流体験を通して、健やかに成長することができるように支援する。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	生涯学習指導者傷害保険加入指導者数 大学連携協働推進協議会等開催回数						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	教育委員会後援等名義使用承認による社会教育関係団体の活動支援 区と区内高等教育機関(明治大学・高千穂大学・女子美術大学・東京立正短期大学・立教女学院短期大学・東京女子大学)との包括協定(平成23年12月2日締結)に基づく連携協働の推進 生涯学習活動の指導者傷害保険への加入による団体指導者等への活動の支援 小学生名寄自然体験交流 小学5、6年生25名 北海道名寄市に派遣(2泊3日)		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	指導者傷害保険加入団体会員数 後援名義使用承認事業数						
区分		単位	平成24年度 実績	平成25年度 計画	平成25年度 実績	平成26年度 計画 (目標値)	平成26年度 実績	平成27年度 計画	平成26年度 対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1	人	3,805	5,000	3,821	5,000	3,700	5,000	74.0	
	活動指標(2)	2	件	3	20	4	20	3	5	15.0	
	成果指標(1)	3	人	62,568	70,000	61,906	70,000	60,265	70,000	86.1	
	成果指標(2)	4	件	126	150	154	150	152	150	101.3	
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	5,339	6,051	4,441	6,099	5,649	7,032	平成26年度 予算執行率(%) 92.6	
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7	千円	2,871	2,655	2,016	2,930	2,929	3,552		
	職員数	常勤職員数	8	人	1.60	1.50	2.00	1.80	2.00	2.00	
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.28	0.20	0.20	0.20	
	人件費	常勤職員分	11	千円	13,920	12,945	17,260	15,858	17,620	17,620	
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13	千円	0	0	778	566	566	566	
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	19,259	18,996	22,479	22,523	23,835	25,218		
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15	円	5,061	3,799	5,883	4,505	6,442	5,044		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19	千円	923	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	923	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 (14-20)		21	千円	18,336	18,996	22,479	22,523	23,835	25,218		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	543
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		小学生名寄自然体験交流	25	人	3,643
		生涯学習活動の指導者傷害保険対象者	3,700	人	913
		連携協議会開催	2	回	180
		通信費・管理事務費ほか			913
	(2) 事業実績	小学生名寄自然体験交流事業については、次世代育成基金を活用し、小学生25名を交流都市である名寄市に派遣して、豊かで厳しい自然と現地の小学生との交流を体験することにより、将来の夢に向かって健やかに成長できるよう支援しました。区内6大学による連携協働事業として、すぎなみフェスタ2014の実施に協力するとともに、包括協定の10周年を機とする今後の新たな取組についての検討等を行いました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	小学生名寄自然体験交流事業を平成24年度より開始 生涯学習活動の指導者傷害保険 契約人数（1日あたりの稼動人数）：H21：79団体3979人H22：74団体3822人 H23：75団体3815人、H24：74団体3805人、H25：78団体3821人、H26：77団体3700人。 後援等名義使用承認件数 H22:133件、H23:129件、H24:126件、H25:154件、H26:152件。 杉並区と区内高等教育機関との連携協働推進協議会開催延回数H20 17回、H22 13回、H23 7回、H24 3回、H25 4回、H26 3回。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	児童の体験だけにとどまらず、体験をもとに他の子どもたちにも還元してもらえるように、学校の朝礼等で、その成果を発表する機会を設定することが求められます。 より多くの地域人材や多様な団体の活動を地域の中で活かすことが求められています。 区民が安全に安心して活動できる環境を整えるため、生涯学習活動以外の保険等の導入も求められており、必要とされる保険間の整合性を図る必要があります。 名義使用承認を要件とした広報紙掲載による団体活動の支援に、より簡易な方法が求められています。			
	今後の予測	次世代育成基金の活用により、多くの子どもたちが将来の夢に向かって健やかに成長できる場が多く創出されます。 区民や社会教育関係団体による自主的な社会教育活動が、区の様々な所管課の事務事業と関連しながら行われており、区全体の横断的な支援体制を確立することで、活動が一層活性化していきます。			
	評価と課題	小学生名寄自然体験交流事業については、児童間の交流がさらに深まるように体験学習内容の充実を図っていきます。傷害保険については、保険会社を変更することにより、前年度より約35万円支払保険料を減額することができました。今後も各保険会社の保険を比較し、コストを圧縮する必要があります。後援名義事業については、地域の社会教育にかかわる活動内容も多様化していることから、区の様々な所管課との連携などにより安全に安心して活動できる環境を整えつつ支援に取り組む必要があります。区内6大学による連携協働については、協議会の運営方法を見直し、「マッチング機能」の充実を図るとともに、その成果として地域での取組の活性化を図ることなど、連携事業のあり方について検討していきます。さらに周年事業にも取り組みます。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	小学生名寄自然体験交流事業については、参加児童が貴重な体験や学習を通じて自らを成長させるのみならず、その成果を学校・家庭・地域に広げて行うという基本的考え方にに基づき、事業を推進していきます。社会教育関係施設間の連携については、個人の要望や社会の要請に応じた組み合わせにより、地域の様々な状況に応じた事業の実施に努めます。区と区内高等教育機関との連携協働推進においては、大学等の次世代育成機能と課題解決のための様々な取組とのマッチングを図り、地域活性化につなげられるように工夫します。教育委員会後援名義使用承認については、合理的な方法による団体活動の支援につなげ、区民による生涯学習社会の実現につなげるように検討します。			

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00520)

事務事業名称 学校開放施設の団体・区民利用等			款 07	項 05	目 01	事業 004	整理番号 544				
現担当課名 学校支援課		係名 学校開放担当係	連絡先電話番号 1673		昨年度整理番号 520						
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分	既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和58年度									
	平成26年度担当課名	生涯学習推進課				事業評価区分	一般				
	対象	区内在住・在勤・在学者		根拠法令等 (1)	社会教育法第44、45、47、48条						
				(2)	スポーツ振興法第13条						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	学校施設を区民のスポーツ・文化活動や遊び、憩いの場として有効に活用するとともに、学校施設を活用することで、区民の自主的活動を活発にし、学校を中心とした地域のコミュニティ意識の高揚を図る。		活動指標 指標名(1)	学校開放延開放回数(遊びと憩いの場・登録団体・プール)						
			指標説明	学校開放登録者総数							
			指標名(2)								
			指標説明								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	「遊びと憩いの場」として、小学校(杉十小学校を除く)の校庭を、水、土、日曜日、祝日、学校休業日(年末年始を除く)の決められた時間に、児童及び高齢者、幼児に開放する。 スポーツ・文化活動の場として、小・中学校の校庭(杉十小学校を除く)・体育館・教室などの施設を児童及び生徒が使用していない時間に、登録した団体に開放する。 身近に利用できる遊泳場として、一部の小・中学校のプールを夏休みの一定期間に開放する。		成果指標 指標名(1)	遊びと憩いの場延べ利用者数							
			指標説明								
			指標名(2)	登録団体延べ利用者数							
			指標説明								
総事業費・コスト把握	区分	単位	平成24年度実績	平成25年度計画	平成25年度実績	平成26年度計画(目標値)	平成26年度実績	平成27年度計画	平成26年度対計画比(%)		
	指標										
	活動指標(1)	1 回	36,749	38,000	36,239	38,000	35,465	38,000	93.3		
	活動指標(2)	2 人	18,887	20,000	18,409	19,000	16,272	17,000	85.6		
	成果指標(1)	3 人	158,561	170,000	144,257	150,000	133,018	140,000	88.7		
	成果指標(2)	4 人	780,905	800,000	792,194	800,000	790,470	800,000	98.8		
	事業費	5 千円	91,030	100,507	94,939	99,175	88,241	87,997	平成26年度予算執行率(%) 89.0		
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内)委託費	7 千円	36,907	39,504	37,215	34,647	28,615	28,751	平成26年度の執行率については、学校開放施設の設備改修工事で、設計差金及び落差金の残が生じたため		
	職員数	常勤職員数	8 人	3.18	3.00	3.23	2.00	2.00	3.00	平成27年1月、登録団体の使用料について改定を行いました。	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00		
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00		
	人件費	常勤職員分	11 千円	27,666	25,890	27,875	17,620	17,620	26,430		
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	4,050	4,050	0		
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	2,830	2,830	2,830		
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	118,696	126,397	122,814	123,675	112,741	117,257			
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15 円	3,230	3,326	3,389	3,255	3,179	3,086			
	財源	受益者負担分	16 千円	1,185	1,239	1,167	7,439	6,715	11,813		
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0		
		その他の補助金等	19 千円	0	0	0	0	0	0		
		特定財源計(16+17+18+19)	20 千円	1,185	1,239	1,167	7,439	6,715	11,813		
差引:一般財源(14-20)		21 千円	117,511	125,158	121,647	116,236	106,026	105,444			
受益者負担比率(16÷14)	22 %	1.0	1.0	1.0	6.0	6.0	10.1				

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	544
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		学校開放指導員謝礼	40	校	21,336
		学校開放に伴う光熱水費			26,735
		プール開放運営委託			12,733
		学校施設維持管理費			17,479
		その他（高三小開放便所改修工事・通信運搬費・医薬品ほか）			9,958
平成26年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>学校施設を活用して、区民にスポーツ・文化活動の場を提供するとともに、児童・高齢者・幼児が自由に校庭を利用できる「遊びと憩いの場」開放を実施しました。登録団体の施設利用については、受益者負担の観点から1時間以内を単位として使用料が改定(平成27年1月～)され、使用料無料の取扱いを廃止し、一般利用と同様に有料としました(少年団体を除く)。学校施設使用料の納付は、学校施設使用券による新たな納入方法を導入し、同使用券の販売窓口を区役所と7地域区民センターに広げるとともに、利用者の利便性の向上を図りました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>ほぼ現行の学校開放の形態となったのは、昭和61年度ですが、当時と比し「遊びと憩いの場」開放については利用者が半減しています。一方、団体開放については登録団体数としては1.6倍、利用人員数は2.5倍に増えています。平成26年度は、改築工事、学校行事の充実、部活の活性化などにより、施設を利用できない、利用が制限されるケースが増えています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>学校支援本部の活動や中学校部活動活性化事業、土曜日授業の開始など学校使用の増加により、登録団体の利用時間が減少しているため、特に校庭を利用する登録団体からは利用時間の確保の要望があります。また、校舎改築等に伴い校庭が利用出来ず、利用回数が減少することに対して、代替施設を紹介してほしいとの意見があります。近隣住民からは、利用者の声・打球音や、学校付近での喫煙など利用者のマナーや、プライバシーに関する苦情や意見が寄せられています。</p>			
	今後の予測	<p>生涯を通じたスポーツ・文化活動の場への要求はさらに大きくなっていくと思われます。しかし、小・中学校の校舎改築や学童クラブの小学校内での実施、小学生の放課後等居場所づくり事業の実施など、学校開放として利用できる施設や利用時間は減少していくと見込まれます。また、「遊びと憩いの場」開放については、少子化の影響もあり利用者の漸減が見込まれます。</p>			
評価と課題	<p>平成26年度は工事や学校行事等により、利用できる施設が若干制限されたこともあり、遊びと憩いの場利用者、登録団体利用者とも減少しましたが、総じて学校施設の利用意向は高く、地域コミュニティ醸成の観点からも、より多く、効果的な利用を促進していきます。また、学校施設は区民にとって最も身近な施設であり、できる限り開放できる施設・時間帯を確保していきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	縮小		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
今後の進め方	<p>学校開放は、子ども或いは生涯にわたるスポーツ・文化活動の場として、また、地域団体等の活動の場として、欠かせない施設です。今後、開放施設や時間帯が制限されることが多くなる中、利用希望が競合するケースの増や、一方で利用マナーの徹底などに対応・対処するため、校長・副校長と連絡を密にし、登録団体利用者の調整機関である利用者団体協議会(全中学校と杉一小・杉十小)とも連携を強化していきます。</p>				

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00521)

事務事業名称		文化財調査・保護			款	07	項	05	目	01	事業	005	整理番号	545	
現担当課名		生涯学習推進課			係名			文化財係			連絡先電話番号	1666	昨年度整理番号	521	
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和57年度													
	平成26年度担当課名	生涯学習推進課													
	対象	区内所在の文化財 区指定登録文化財の所有者・保持者等及び区民一般			根拠法令等	(1)		文化財保護法							
						(2)		杉並区文化財保護条例							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	区内の文化財を保護する。 文化財所有者及び区民が文化財を理解し、これを保存・活用できる。			活動指標	指標名(1)		埋蔵文化財調査・立合等の延べ日数							
					指標説明		杉並区文化財指定登録総件数								
					指標名(2)										
					指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	文化財調査を進め、必要と認められたものを登録文化財とし、重要なものを指定文化財として保存、刊行物や案内標示板等を媒体として、情報を提供、区内団体などと協働し、文化財の公開や文化財保護思想の普及を図る。 埋蔵文化財の適切な保護・保存を図り、活用に資する発掘調査を実施する。 荻外荘が国の史跡指定を受けるための手続きを進めるとともに、近衛文麿関係資料等の調査を実施し、保存・活用を図る。			成果指標	指標名(1)		埋蔵文化財本調査延べ日数								
					指標説明		杉並区文化財保護奨励金の交付件数								
					指標名(2)										
					指標説明										
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 件	253	250	263	180	179	200	99.4						
	活動指標(2)	2 件	142	144	143	145	143	145	98.6						
	成果指標(1)	3 日	42	40	21	80	84	40	105.0						
	成果指標(2)	4 件	114	116	116	116	116	116	100.0						
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	26,808	13,031	12,517	24,022	19,345	17,402	平成26年度 予算執行率(%)	80.5					
	(内)投資的経費等	6 千円	0	100	0	100	79	100	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	5,788	6,740	6,455	14,660	11,396	6,477	大宮八幡宮旧本殿及び荻外荘の調査を実施したこと等により、事業費増となりました。						
	職員数	常勤職員数	8 人	4.00	4.00	4.37	3.00	3.08	3.00	文化財の調査研究委託費及び埋蔵文化財発掘調査委託費等に、実績による残が生じました。					
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	活動指標及び成果指標を見直しし、変更しました。					
		非常勤職員数	10 人	3.00	3.00	3.00	5.00	5.00	5.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	34,800	34,520	37,713	26,430	27,135	26,430						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	8,250	8,340	8,340	14,150	14,150	14,150						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	69,858	55,891	58,570	64,602	60,630	57,982							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15 円	276,119	223,164	222,700	358,344	338,274	289,410							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	1,400	1,500	2,198	3,000	2,451	2,000						
		都からの補助金等	18 千円	700	750	1,099	1,500	1,225	1,000						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	2,100	2,250	3,297	4,500	3,676	3,000							
差引:一般財源(14-20)		21 千円	67,758	53,641	55,273	60,102	56,954	54,982							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	545
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		指定登録候補等調査委託	11	件	6,169
		指定登録文化財保護奨励金	116	件	1,805
		埋蔵文化財調査委託	11	件	4,770
		文化財案内標示板等作成・修理	11	基	1,532
		その他(文化財保護審議会の運営、刊行物発行ほか)			5,069
(2) 事業実績	<p>平成26年度は、文化財シリーズ44「杉並の石造物」を6年ぶりに発刊しました。荻外荘の基礎調査報告書については、日本史・建築・庭園分野等の取りまとめを終了し、全体の編集を行い、ほぼ完了しました。その他、年間計画に基づく事業については、着実に実施しました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>文化財シリーズの刊行や文化財案内標示板等の設置に加え、毎年「杉並区史跡散歩地図」を刊行しています。高齢化社会の到来により、健康ブームと相まって文化財散歩等を趣味にする区民が増加しています。また、近年の世界遺産の登録など文化財に対する興味・関心の高まりにより、文化財部門に対する要望も多様化しています。文化財保護ボランティアについても、官制の事業を引き受けるだけの存在である育成段階から自主的に事業を企画・運営する能力のあるボランティアへ成長しつつあります。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>地域の歴史や文化に対する興味・関心の高まりに伴い、この事業への期待も高まっています。一方これらの人々が特定の年齢層に固定化している状況であるため、他の年齢層の意見や要望の掘り起こしが必須であると考えられます。埋蔵文化財の整理・保存も重要な案件となっています。整理・保存場所の確保が重要課題となっていますが、区民共有の財産としての出土物の活用を図っていくことが重要です。区民の要望が多様化・複雑化している中で、係の専門職員が、全員期限付きの嘱託員であることから、区民の個別的要望に十分な対応ができる状況ではありません。</p>			
	今後の予測	<p>区の行政実務及び区民サービス等との関係で文化財保護法第93条・第96条の業務をどのように位置づけしていくかが今後の課題です。(文化庁の目指す遺跡の保護・保存等や研究業務との共生の在り方について) また、埋蔵文化財出土品や各資料の保管場所については、高井戸小学校の倉庫や永福体育館収蔵庫に分散していますが、永福体育館の解体が平成28年度に予定されていることから収蔵庫の確保が急務であると考えられます。さらに同じ課題を抱える郷土博物館との連携も考える必要があります。</p>			
評価と課題	<p>文化財部門の専門職員が全て嘱託員であることから、事業の継続にあたっては、一般常勤職員による補完的役割がより必要となっています。さらに職員の育成にあつては、係全員で対心する必要に迫られています。また、指定登録文化財の案件が枯渇し始めています。新たな調査により、区内に眠っている文化財の発掘が必要です。近代史跡として荻外荘の価値の保存と価値付けを行っていくためには、文化財部門が中心となって行う必要があります。文化財保護ボランティアの自立に向けては、運営が軌道に乗るよう支援を行う必要があります。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	対象の見直し		
今後の進め方	<p>文化財保護法・杉並区文化財保護条例及び関連分野の法規範との整合性を図りながら、効率的で区民の求める文化財行政を考える必要があります。埋蔵文化財出土品や各資料の保管場所については、近々に検討すべき課題です。一方、廃棄についても上級庁での検討を促すため、毎年、行政要望を継続して提出しています。</p>				

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00523)

事務事業名称		社会参加支援			款	07	項	05	目	01	事業	007	整理番号	547	
現担当課名		生涯学習推進課			係名			社会教育センター			連絡先電話番号	4712	昨年度整理番号	523	
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和44年度													
	平成26年度担当課名	生涯学習推進課											事業評価区分	一般	
	対象	義務教育終了後の知的障害者 区内在住、在勤、在学の外国人 こころの問題等をかかえた青年			根拠法令等	(1)		社会教育法第3、5条							
						(2)		杉並区済美日曜教室実施要綱、にほんご教室分担金支給要綱、すぎなみしゃべり場実施要綱							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害を持った方や日本語の習得が必要な外国人等が、自立して社会参加できるようにする。			活動指標	指標名(1)		済美日曜教室延参加者数							
					指標説明		しゃべり場延参加者数								
					指標名(2)		しゃべり場延参加者数								
					指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	済美日曜教室 教養講座や近郊へ出かける社会見学等の体験学習を実施 にほんご教室 レベル別に5クラス設定し、区内団体との共催で、年3期実施 青年期の社会適応力の向上 「すぎなみしゃべり場」(フリースペース)等の開催			成果指標	指標名(1)		済美日曜教室参加率								
					指標説明		済美日曜教室延参加者数÷済美日曜教室延登録者数								
					指標名(2)		しゃべり場1回あたりの参加者数								
					指標説明		しゃべり場延参加者数÷実施回数								
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度	特記事項					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 人	765	900	852	900	859	900	95.4						
	活動指標(2)	2 人	206	300	348	300	296	300	98.7						
	成果指標(1)	3 %	56.0	70	63.8	70	57.3	70	81.9						
	成果指標(2)	4 人	5	10	7	10	6	7	60.0						
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	6,507	7,891	6,993	8,759	7,874	7,680	平成26年度 予算執行率(%)	89.9					
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0							
	(内)委託費	7 千円	1,299	1,587	1,521	2,267	2,046	1,578							
	職員数	常勤職員数	8 人	1.77	1.60	1.76	1.60	1.80	1.60						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	1.24	1.10	1.10	1.10	1.10	1.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	15,399	13,808	15,189	14,096	15,858	14,096						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	3,410	3,058	3,058	3,113	3,113	2,830						
	総事業費	14 千円	25,316	24,757	25,240	25,968	26,845	24,606							
	単位あたりコスト	15 円	33,093	27,508	29,624	28,853	31,251	27,340							
	財源	受益者負担分	16 千円	361	406	354	361	403	477						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	652	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計		20 千円	1,013	406	354	361	403	477							
差引:一般財源		21 千円	24,303	24,351	24,886	25,607	26,442	24,129							
受益者負担比率	22 %	1.4	1.6	1.4	1.4	1.5	1.9								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		547	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		<p>済美日曜教室(教養講座12回、体験学習4回)</p> <p>にほんご教室</p> <p>青年期の社会適応力の向上(しゃべり場運営、講座開催)</p> <p>その他()</p>	16	回	5,409
(2) 事業実績	<p>済美日曜教室には96名が登録しました。各回、平均24名(平成25年度地域大学で育成したサポーター10名を含む)のボランティアが参加し、障害者の学習活動を支援しました。にほんご教室は3期延63回開催し、111名の外国人が参加しました。また、にほんご教室主催団体との協働を進め、経費削減に努めました。青年期の社会適応力の向上事業は、生活設計や家計管理などについて学ぶ講座を開催したほか、すぎなみフェスタに出店することで、社会参加促進を図りました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>済美日曜教室は青年学級振興法のもと、済美青年学級として昭和44年に開始しました。平成12年、根拠法令廃止により、名称を変更して知的障害者の学習・余暇事業として継続しています。年々障害の程度が重い方や重複障害の方が増加しています。国際化が進む中、日本語を基礎から学ぶ学習の場として平成3年度に開始したにほんご教室とは別に、日本語によるコミュニケーションや会話を習得する場は広がっています。青年期の社会適応力の向上事業は、平成16年度に開始し、関係団体等との情報交換や多様な講座開催など事業拡充を図ってきました。近年、生活困窮者自立支援法や発達障害者支援法の制定等により、ひきこもり等に係る支援がはかられてきています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>済美日曜教室では多くの参加者が休日も家族と過ごす割合が高く、日曜日に家族外の人と交流のできる事業への期待は大きなものとなっています。にほんご教室は、夜間開催し、託児付であるため、「仕事帰りに参加できる」「子どもを預けて勉強できる」という参加者の声があります。青年期の社会適応力の向上事業では、「友人をつくりたい」「コミュニケーション力を向上させたい」「社会参加のきっかけづくり」という動機からの参加が並び、「一人ではないと感じられる」「ほっと息が抜ける」という感想が寄せられています。</p>			
	今後の予測	<p>昨年より障害者の権利条約の効力が発生しており、今後ますます障害者の社会参加に関わる取り組みが促進されます。済美日曜教室では、事業に対する区民理解と期待が高まる一方で、参加者の高齢化、障害の重度化・重複化などにより、運営ボランティアの確保と質の向上が必要になります。外国人住民の人口は、25年度10,236人、26年度10,755名と微増しており、東京五輪を前に、今後も増加が見込まれます。青年期の社会適応力の向上は、法整備やサービス・事業などの社会資源が充実してくる中で、関係機関等の連携が深まり、多様な参加者に応じた適切な支援につながると考えます。</p>			
評価と課題	<p>社会参加支援事業は、様々な課題を持つ方の学習活動を支援しており、多くの方にご参加いただきました。対象者の特徴から、事業の実施には専門的知識やノウハウ、人手の確保が重要です。そのため、専門性のある団体等や区民ボランティアとの協働を図っていますが、事業内容の充実と安全面から、ボランティアの確保や運営にあたる団体のスキルアップは今後も必要です。また、関係部署との連絡調整を進め、連携を図っていくことも必要です。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)・対象の見直し		
今後の進め方	<p>済美日曜教室は、参加者の安全を確保しながら、地域参加や学習が深まるように、運営や内容について工夫を図っていきます。運営においてはボランティアの拡充や研修、運営者間の情報共有に取り組むとともに、内容においては地域団体や区内大学等との連携を進めていきます。にほんご教室は、団体との協働により、区内外国人に必要な学習機会を提供していきます。青年期の社会適応力の向上事業は、関係部署との連携を深め、社会参加に必要な支援を検討していきます。</p>				

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00524)

事務事業名称		社会教育センター運営			款	07	項	05	目	01	事業	008	整理番号	548
現担当課名		生涯学習推進課			係名			社会教育センター			連絡先電話番号	4712	昨年度整理番号	524
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成元年度												
	平成26年度担当課名	生涯学習推進課									事業評価区分	一般		
	対象	一般区民、自主活動団体、企業			根拠法令等	(1)		(2)		杉並区立社会教育センター条例				
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	社会教育の実践の場である社会教育センター施設として、広く区民等の利用拡大に努める。区民や団体が、身近な地域で、生涯を通じて社会とのつながりを持ち続け、自発的な学習活動の実践につながるように、その活動を支援する。			活動指標	指標名(1)		指標説明		施設利用回数				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	施設の予約について、インターネット、窓口に設置されているタッチパネル式パソコン、携帯電話のインターネットによる方法で受け付ける。社会教育に関心のある区民の参画を得て事業を推進する方策について、協議・実践・調査・研究等を行う。地域における区民の自発的な各種学習活動を支援する。			指標名(2)	指標説明		社会教育に関する会議の人数						
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1	回	5,088	8,664	5,378	8,664	4,951	10,914	57.1				
	活動指標(2)	2	人	10	10	10	8	8	8	100.0				
	成果指標(1)	3	%	59	100	62	100	57	100	57.0				
	成果指標(2)	4	%	81	80	77	80	63	80	78.8				
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	6,017	6,644	6,301	6,636	5,812	7,860	平成26年度予算執行率(%)	87.6			
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	7	千円	520	583	552	648	604	594	社会教育に関する会議開催数の減及び出席率漸減による残				
	職員数	常勤職員数	8	人	2.43	2.20	2.42	2.20	2.22	1.50				
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
		非常勤職員数	10	人	0.90	0.80	0.80	0.80	0.80	0.50				
	人件費	常勤職員分	11	千円	21,141	18,986	20,885	19,382	19,558	13,215				
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0				
		非常勤職員分	13	千円	2,475	2,224	2,224	2,264	2,264	1,415				
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	29,633	27,854	29,410	28,282	27,634	22,490					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	5,824	3,215	5,469	3,264	5,581	2,061					
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源(14-20)		21	千円	29,633	27,854	29,410	28,282	27,634	22,490					
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 548

平成26年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	社会教育センター運営経費（消耗品、備品）		
	社会教育に関する会議謝礼金			192
	社会教育に関する会議運営事務費			457
	通信運搬費等（電話料金ほか）			336
	その他（ ）			
(2) 事業実績	<p>社会教育に関心のある区民の方からなる会議を毎月1回開催するとともに、すぎなみフェスタにおいて、杉並区の未来像に関する意識調査を行いました。この結果を参考に、社会教育セミナーとして杉並での暮らし方を探る「すぎなみライフスタイル考～近未来のジモト論～（全4回）」を実施しました。また、講座への参加者から希望を募って、すぎなみライフスタイルに関する研究、調査と課題の解決を探るワーキングチームを編成しました。</p>			

事業開始当初から現在までの変化	<p>施設使用率 平均約60%（平成元年度～平成26年度） 区民意向調査における調査結果 「ボランティア活動経験」 平成22年度 22.6% 平成26年度 25.1% 取り組んでいる社会活動参加状況のうち社会貢献・社会参加活動の割合 平成22年度 5.2% 平成26年度 6.8% 新たな基本構想づくりに向けた区民アンケート（平成22年11月実施） 「協働の地域社会づくりについての考え方」 8割以上の区民が地域社会への参加意向</p>
事業環境の変化 （事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>区内全域からのより広く多様な住民の参加と、地域の特性に応じて活用できるような仕組みが求められています。このため、社会教育に関心のある区民からなる会議を開催し、社会教育事業の取組や方向性、活動主体・運営などの仕組みを検討し、そこから導かれた活動テーマ・課題について解決に向けた事業を展開していきます。</p>
今後の予測	<p>区を取り巻く環境は大きく変化しています。本格的な少子・高齢社会の到来を迎え、高齢者が暮らしやすい社会への備えを進めるとともに、若者や現役世代が地域で様々な活動に参加できる社会への要望が高まることが予測されます。</p>
評価と課題	<p>平成26年度は、地域活動の実践者を中心に、区民の地域づくりへの具体的な行動につなげる仕組や働きかけを検討する話し合いを続けました。その結果、社会教育セミナー「すぎなみライフスタイル考～近未来のジモト論～」参加者から希望者を募って、杉並区での暮らし方を探る区民版シンクタンク「すぎなみライフスタイル研究会」を発足させました。 区民が地域とのつながりを深め、区民の地域参加を促し、地域づくりを目的とする区民自身の手による活動を支援するためのさまざまな講座・ワークショップなどの事業を開催することで、地域づくりの担い手を発掘・育成していく必要があります。</p>

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
今後の進め方	<p>身近な地域で、区民一人ひとりがそれぞれの役割を見出し、地域や社会の課題や問題の解決にあたる必要があります。そのために、地域の実情を踏まえて、より広く区民の参画を促す工夫が求められます。 NPOやボランティア等地域で活躍する個人のネットワークや情報を活用しながら、幅広い議論と実践につながる事業をより一層推進していきます。また、社会教育センターや地域の区民センターを会場に地域づくりに関わる社会教育団体とも協力して、これからの住民主体による地域活動に不可欠な学びを促進できる多様な「場」や「機会」に関わる担い手を育成していきます。</p>		

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00525）

事務事業名称		社会教育団体協働事業			款	07	項	05	目	01	事業	009	整理番号	549	
現担当課名		生涯学習推進課			係名	社会教育センター			連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	525		
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和26年度													
	平成26年度担当課名	生涯学習推進課									事業評価区分	一般			
	対象	区内在住・在勤・在学者 各種社会教育団体			根拠法令等	(1)		社会教育法第3、5条							
						(2)		大学公開講座実施要綱、杉並区文化団体連合会補助金交付要綱等							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	区民や関係団体と事業を共催することにより、区民の生涯学習や文化・芸術活動の参加の機会を提供するとともに、関係団体の活動を活性化する。			活動指標	指標名（1）		講座回数（大学公開講座、ユネスコ活動）							
					指標名（2）		指標説明								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	杉並区文化団体連合会と共催で総合文化祭を実施する。区内6大学と共催し公開講座を実施する。杉並ユネスコ協会と共催等により、国際理解を深め平和の推進を図る事業を実施する。社会教育活動団体と共催で事業を実施する。社会教育活性化支援プログラムを実施する。			成果指標	指標名（1）		総合文化祭の延べ来場者数								
					指標名（2）		受講者数								
					指標説明		大学公開講座、ユネスコ活動								
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）						
指標	活動指標（1）	1	回	67	70	71	70	67	70	95.7					
	活動指標（2）	2													
	成果指標（1）	3	人	16,336	17,000	15,639	17,000	14,354	16,000	84.4					
	成果指標（2）	4	人	1,581	2,800	2,769	2,800	2,290	2,500	81.8					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	6,583	9,088	8,872	8,153	7,001	7,920	平成26年度予算執行率（%）	85.9				
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	（内）委託費	7	千円	0	563	558	430	389	10	大学公開講座分担金申請の実績による執行残あり。					
	職員数	常勤職員数	8	人	1.66	1.50	1.65	1.50	1.76	1.50	社会教育活性化プログラム「減災・ふれあいウォークラリー」を地域団体と協働して実施したことによる執行残あり。				
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.56	0.50	1.50	0.50	0.50	0.50					
	人件費	常勤職員分	11	千円	14,442	12,945	14,240	13,215	15,506	13,215					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	1,540	1,390	4,170	1,415	1,415	1,415					
	総事業費	14	千円	22,565	23,423	27,282	22,783	23,922	22,550						
	単位あたりコスト	15	円	336,791	334,614	384,254	325,471	357,045	322,143						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	1,528	1,528	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計		20	千円	0	1,528	1,528	0	0	0						
差引：一般財源		21	千円	22,565	21,895	25,754	22,783	23,922	22,550						
受益者負担比率	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	549
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		大学公開講座共催分担金	6	団体	1,164
		杉並区総合文化祭分担金			4,000
		文化団体連合会補助金	1	団体	350
		ユネスコ活動分担金等	1	団体	778
		その他(社会教育活性化支援プログラムほか)			709
平成26年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>関係団体の自主性を重んじ、活動を活性化させるために、各団体と共催事業を実施しました。昨年度に続き、社会教育活性化プログラム「減災・ふれあいウォークラリー」を実施しました。杉並第六小学校震災救援所運営連絡会の共催もあり、昨年度よりも実行委員会の主体性が高まった内容になりました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>杉並区総合文化祭は、当初4団体で発足、平成21年度以降平成24年度までは31団体、平成25年度からは30団体 区内大学公開講座実施対象校数 昭和60年 4大学 平成5年度 5大学 平成13年度から区内の全大学(6大学)で実施 社会教育活性化支援プログラム「減災・ふれあいウォークラリー」 平成25年度 実行委員会を立ち上げ、新たに考案したプログラムにより25、26年度事業を実施</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>総合文化祭では、区民の発表の場として「区民文化の日」を設け、多くの参加がありました。大学公開講座については、各大学とも特色のある講座を実施し、受講者からは好評でしたが、参加者の高齢化が目立っています。 ユネスコ事業として、「ユネスコのつどい」でひめゆり映画会、「ユネスコ運動の日」で原爆の凶丸木美術館へのバスツアーなどを開催しました。ユネスコならではの「平和」に関する企画で、参加者からの満足度が高い事業となりました。また、中学生を対象とした「ユネスコ教室」では、募集人員を大幅に超える90名以上から応募がありました。青少年の国際理解推進事業は、区民からの高いニーズがあることがわかります。</p>			
	今後の予測	<p>趣味・娯楽、スポーツ、教養・学習などの社会活動を担う団体への期待は、今後も高まっていくものと予想されます。</p>			
評価と課題		<p>各団体の特色を活かした事業の実施は、参加者から好評を得ています。活動経験の長い団体の運営は、安定感がありますが、新鮮性に乏しい面があることは、否めない状況になっています。「減災ふれあいウォークラリー」は、実行委員会の主体性が高まりました。他団体の共感も得て、活動に広がりが見られます。活動を続けるなかで、減災以外の課題の発見がありました。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
今後の進め方	<p>既存の各団体に区民の要望や地域で活動する他の団体、活動場所など、様々な情報を提供することにより、新たな事業の実施を促し、団体の活動を活発にしていきます。 文部科学省の事業としての「社会教育活性化支援プログラム」は、平成26年度で終了になりますが、地域課題を住民自らが解決していくための仕組みを検討する取組みは、今後も必要です。減災ウォークラリーで地域に出ていくことにより見えてきた減災以外の新たな課題について検討し、様々なキーワードを見出しながら住民参加の活動を展開していきます。</p>				

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00526)

事務事業名称 成人学習支援			款 07	項 05	目 01	事業 010	整理番号 550			
現担当課名 生涯学習推進課		係名 社会教育センター			連絡先電話番号 4712	昨年度整理番号 526				
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成元年度								
	平成26年度担当課名	生涯学習推進課				事業評価区分	一般			
	対象	一般区民	根拠法令等	(1) 社会教育法第3、5条 (2) 杉並区立社会教育センター条例						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	多世代の地域参加を促進するとともに、自らの学びの成果を発信し、次代に伝えていく力を育む。		活動指標 指標名(1)	すぎなみ大人塾(月曜・土曜コース等)延べ参加者数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	地域とのかかわりが薄い若者や、地域住民等を対象に地域の課題を自ら考える機会となる講座運営を行う。 地域社会の担い手を育む学習の場として、現代的課題の解決や、コーディネート力を培う高度な講座を開催する。		指標説明 指標名(2)	区民企画講座(CAMOプロジェクト)活動グループ数					
			成果指標 指標名(1)	大人塾の年間講座出席率						
			指標説明 指標名(2)	大人塾年間出席者実数÷年間大人塾参加者延べ数						
				区民企画講座(CAMOプロジェクト)参加者数						
			指標説明	CAMOプロジェクト数÷CAMOプロジェクト登録者数						
区分		単位	平成24年度 実績	平成25年度 計画	平成25年度 実績	平成26年度 計画 (目標値)	平成26年度 実績	平成27年度 計画	平成26年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 人	740	1,200	883	1,200	1,221	1,200	101.8	
	活動指標(2)	2 団体	6	5	5	5	5	1	100.0	
	成果指標(1)	3 %	62	70	70	60	64	65	106.7	
	成果指標(2)	4 人	9.0	10	9.6	10	9.4	60	94.0	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	4,083	3,729	3,485	3,837	3,139	3,652	平成26年度 予算執行率(%) 81.8	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 各種講座講師及び託児等の実績による謝礼金の残 区民企画講座は、平成27年度から内容変更に伴い、指標を変更。 活動指標(2)はコース数。成果指標(2)は、地域との協働による講座実施率(「地域との協働による講座実施数」÷「実施講座数」)。	
	(内)委託費	7 千円	458	295	295	395	395	295		
	職員数	常勤職員数	8 人	3.43	2.10	2.31	2.10	2.22		2.10
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	2.37	1.60	1.60	1.60	1.60		1.40
	人件費	常勤職員分	11 千円	29,841	18,123	19,935	18,501	19,558		18,501
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	6,518	4,448	4,448	4,528	4,528		3,962
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	40,442	26,300	27,868	26,866	27,225	26,115		
	単位あたりコスト(14÷6)÷1)	15 円	54,651	21,917	31,561	22,388	22,297	21,763		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源(14-20)		21 千円	40,442	26,300	27,868	26,866	27,225	26,115		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	550
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		すぎなみ大人塾	2	講座	2,473
		区民企画講座	5	講座	375
		社会教育セミナー	1	講座	290
		その他()			1
(2) 事業実績	すぎなみ大人塾：2コース 年間延べ参加者 528名 大人塾まつり 来場者約1119名 大人塾10周年特別企画 6コース(8回) 149名 協働推進課との共同事業開催4回(講演会3回、シンポジウム1回) 494名 活動記録集の発行350部 区民企画講座：講座数5 企画運営会議12 企画運営委員7 登録者47 地域活動アドバイザー1 社会教育セミナー「すぎなみライフスタイル考」応募者数 64名				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	ボランティアの活動経験は、平成21年度の23.2%から平成26年度には25.1%と微増しています(区民意向調査結果)。また、平成22年11月に実施した新たな基本構想づくりに向けた区民アンケートでは、8割以上の区民が地域社会への参加意向を持っています。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	参加者からは、「同世代でもそれぞれ意見や思いが異なり、それをまとめていく過程において学ぶところが多かった」「個人ではなく仲間と一緒にやり遂げられたからこそ見えてきたものがあった」など、地域における他者との相互学習による学習方法が高く評価されています。			
	今後の予測	東日本大震災以降、地域におけるつながりの必要性が広く認識され、地域で行われる事業への関心はこれまで以上に強くなっています。この傾向は、国の第2期教育振興基本計画でも、教育行政の基本的方向性の一つの「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」として示されています。			
評価と課題	大人塾は、一年間を通じた学習です。修了生の社会教育委員・地域区民センター協議会・学校運営協議会への就任などから問題意識の高まりが証明されています。一方、リピーターも多く、新たな地域の学習者へのアプローチを検討する必要があります。大人塾まつりは、修了生のつながりと活動の発表の場として有効な手段です。平成26年度からは、大人塾修了生のみならず、すぎなみ地域大学卒業生・杉並ボランティアセンター所属の活動者等からも出店してもらい、来場者が1000人を超えました。協働推進課との共同事業および10周年特別企画では、修了生など現在「地域活動」に取り組んでいる層に対し、さらに活動を発展していただけるような気づきやつながりを提供できました。区民企画講座は、他自治体で活動する若者の団体を招き「大人の部活フェス」を開催しました。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	今後の進め方	大人塾では、地域づくりの担い手として、区民自身が多様な学びの場や機会を創り出すことができるよう、引き続き、区民主体の地域活動につながる学びを提供していきます。また、600名以上の修了生がいることから、コーディネーター的役割を持つ人材として、自治会や地域区民センター協議会、商店街、学校などでの地域活用をさらに進めていきます。区民企画講座は、若者を対象としたまま、平成27年度から内容を変更し、新たな方法で地域に関わる若者の発掘・育成を図り、事業を実施していきます。			

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00527)

事務事業名称		郷土博物館の運営管理			款	07	項	05	目	01	事業	011	整理番号	551	
現担当課名		生涯学習推進課		係名	郷土博物館			連絡先電話番号	3317-0841		昨年度整理番号	527			
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成元年度													
	平成26年度担当課名	生涯学習推進課									事業評価区分	一般			
	対象	博物館利用者			根拠法令等	(1)		博物館法							
						(2)		杉並区立郷土博物館条例							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	歴史的・文化的資料の収集保存・調査研究活動を行い、展示等各種事業を通じて、利用者に杉並の歴史文化を知ってもらつとともに、区民の杉並への理解と関心を高め愛着心を高める。			活動指標	指標名(1)		企画展・講座・教室等事業実施回数							
					指標説明		収蔵資料総数								
					指標名(2)										
					指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	資料の収集・保管・調査・研究・寄贈・寄託・展示、子供博物館教室、講演会等各種行事の周知・実施 学校教育等への支援・連携 研究紀要・年報等の発行			成果指標	指標名(1)		事業参加者数								
					指標説明		アンケート結果								
					指標名(2)		満足を3、普通を2、不満を1とした平均点								
					指標説明										
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	回	63	50	69	50	57	50	114.0					
	活動指標(2)	2	点	138,201	139,201	139,814	140,814	140,751	141,751	100.0					
	成果指標(1)	3	人	54,014	55,000	55,082	56,000	58,599	59,000	104.6					
	成果指標(2)	4	点	3.0	3.0	2.7	3.0	2.7	3.0	90.0					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	14,169	13,422	11,637	15,282	12,436	17,049	平成26年度予算執行率(%)	81.4				
	(内)投資的経費等	6	千円	181	200	74	200	0	200	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	4,503	3,260	3,185	4,058	3,641	4,069						
	職員数	常勤職員数	8	人	3.80	3.00	3.31	4.00	4.46	3.00					
		再任用職員数	9	人	2.02	2.00	2.03	2.00	2.03	2.00					
		非常勤職員数	10	人	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	13.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	33,060	25,890	28,565	35,240	39,293	26,430					
		再任用職員分	12	千円	7,939	7,720	7,836	8,100	8,222	8,100					
		非常勤職員分	13	千円	33,000	33,360	33,360	33,960	33,960	36,790					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	88,168	80,392	81,398	92,582	93,911	88,369						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	1,396,619	1,603,840	1,178,609	1,847,640	1,647,561	1,763,380						
	財源	受益者負担分	16	千円	1,298	1,471	1,471	1,472	1,391	1,467					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	1,298	1,471	1,471	1,472	1,391	1,467						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	86,870	78,921	79,927	91,110	92,520	86,902						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	1.5	1.8	1.8	1.6	1.5	1.7							

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	551	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		特別展・企画展・講座・教室等の開催		57	回	10,794
		博物館事業の運営管理経費				1,345
		郷土博物館運営協議会の開催		3	回	295
		その他（ ）				2
(2) 事業実績	特別展をはじめとした企画展、収蔵資料展を15回開催しました。このうち3回は、区民が中心となって調査・企画した区民参加型の展示です。そのほか、講座・教室・講演会を開催し、年中行事・伝統芸能を紹介しました。3月には常設展示を更新しました。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>入館者数</p> <p>平成元年度 17,326人</p> <p>平成19年度 分館会館</p> <p>平成20年度 13,324人（本館）・12,740人（分館）</p> <p>平成25年度 13,246人（本館）・12,011人（分館）</p> <p>平成26年度 13,210人（本館）・13,361人（分館）</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	展示・講座等開催した各種事業は、来館者から概ね高い評価を受けています。				
	今後の予測	区立小・中学校の余裕教室を資料の収蔵場所として使用することが困難になることが予測されます。				
評価と課題	<p>杉並の歴史と文化を知ってもらい、郷土への愛着心を高めてもらうため、博物館活動をしています。が、事業参加者数は平成24年度から3年連続して増加しており、来館者からは概ね満足といった評価を得ています。</p> <p>小・中学校に仮置き資料について、新たな収蔵庫の確保が課題です。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充			
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）				
今後の進め方	<p>地域社会における生涯学習の場として、区民が自主的な学習の機会を得ることができるとともに、その成果を地域における郷土学習の発展、進化につなげられるようにしていきます。このため、区民の自主的、主体的な学習の成果を発表する場を郷土博物館が提供し支援する、区民参加型展示を実施します。また、区民、地域団体、ボランティアなどと様々な場面で連携、協働し、区民参加による郷土学習を推進します。</p>					

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00528）

事務事業名称		図書館運営				款	07	項	05	目	01	事業	012	整理番号	552		
現担当課名		中央図書館		係名		管理係		連絡先電話番号		4715		昨年度整理番号		528			
上位施策No・施策名											29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分		既定事業		
事務事業の概要	事業開始		昭和25年度		実行計画事業		目標		05 施策		29 計画事業		03 04 05		主要事業（区政経営報告書掲載事業）		
	平成26年度担当課名		中央図書館										事業評価区分		一般		
	対象		図書館利用者及び団体（学校、保育園、ゆうゆう館など）				根拠法令等		(1)		図書館法		(2)		子どもの読書活動の推進に関する法律		
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		誰もが学び続け、その成果を活かせる地域づくりを進めるため、本と親しめる環境を整備するとともに図書館利用促進を図るなど、区民の生涯学習や自立を支援していく。				活動指標		指標名（1）		蔵書数		指標名（2）		個人貸出冊数		
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		区民の課題解決や生涯学習を支援するためレファレンスサービスの充実やデータベースの拡充を図る。 。図書館システムの運用、インターネットパソコンによる情報発信及び情報提供を行う。 。図書館資料の選定、収集、保存及び廃棄を行う。 。図書館資料の利用案内を行う。 。乳幼児から高齢者まで幅広い世代への読書機会の提供と読書環境の充実を図る。				成果指標		指標名（1）		区民1人当たりの蔵書数		指標名（2）		区民1人当たりの年間貸出冊数 個人貸出冊数÷杉並区の人口		
区分		単位		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成26年度					
				実績		計画		計画 (目標値)		実績		計画		対計画比(%)			
指標	活動指標（1）		1 冊		2,391,024		2,436,000		2,403,581		2,403,000		2,348,027		2,256,000 97.7		
	活動指標（2）		2 冊		4,566,628		4,900,000		4,478,923		4,900,000		4,437,053		4,900,000 90.6		
	成果指標（1）		3 冊		4.42		4.50		4.41		4.40		4.27		4.10 97.0		
	成果指標（2）		4 冊		8.44		9.05		8.22		8.99		8.07		8.91 89.8		
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		1,020,514		931,622		913,467		949,484		931,800		968,098 平成26年度 予算執行率(%) 98.1		
	(内) 投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		特記事項		
	(内) 委託費		7 千円		745,806		654,872		646,866		677,381		671,475		701,668		
	職員数	常勤職員数		8 人		58.72		60.00		63.48		58.00		61.23		59.00	
		再任用職員数		9 人		14.00		17.00		17.00		19.00		19.00		18.00	
		非常勤職員数		10 人		23.00		23.00		23.00		22.00		22.00		15.00	
	人件費	常勤職員分		11 千円		510,864		517,800		547,832		510,980		539,436		519,790	
		再任用職員分		12 千円		55,020		65,620		65,620		76,950		76,950		72,900	
		非常勤職員分		13 千円		63,250		63,940		63,940		62,260		62,260		42,450	
	総事業費 (5+11+12+13)		14 千円		1,649,648		1,578,982		1,590,859		1,599,674		1,610,446		1,603,238		
	単位あたりコスト (14-6)÷1		15 円		690		648		662		666		686		711		
	財源	受益者負担分		16 千円		0		0		0		0		0		0	
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0	
		都からの補助金等		18 千円		0		0		0		0		0		0	
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0			
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円		0		0		0		0		0		0			
差引：一般財源 (14-20)		21 千円		1,649,648		1,578,982		1,590,859		1,599,674		1,610,446		1,603,238			
受益者負担比率 (16÷14)		22 %		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	552	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単 位	事業費（千円）
		管理運営（指定管理者）	6	館	425,351	
		図書館サービス業務委託	4	館	185,698	
		図書館資料購入・装備	13	館	191,785	
		図書館システム管理（図書サービスコーナー等含む）	16	施設	54,855	
		その他（情報環境の提供、ブックスタート、子ども読書活動推進ほか）	74,111			
平成26年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>「あかちゃんタイム」など、乳幼児とその保護者の図書館利用促進のための事業を実施したほか、朗読者養成講座など図書館を活用した区民講座を実施しました。 図書館サービスを補完する為に、高円寺駅前図書サービスコーナーの改修と桜上水駅前図書サービスコーナーの新設に向けて準備しました。 平和な社会の実現を希求し、アンネ・フランクに関する書籍の展示や中央図書館などでアンネのパラの植樹を実施しました。</p>				
		<p>事業開始当初から現在までの変化</p> <p>平成25年に区立図書館を設置、その後、平成19年に13館目を設置することにより、中央図書館を核とした13館で図書館運営を行っています。 平成17年度から民間の創意工夫を活かした運営を採用し、現在は、13館中10館で民間事業者による運営（一部業務委託）としています。 昭和59年図書館コンピュータシステムを導入、平成13年度に図書館ホームページを開設し、さらに平成24年度に図書館システムを更新するなど、区民の利用しやすい仕組みづくりを進めています。</p>				
事業環境の変化	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>高円寺地域の新たな図書館を求める意見や電子情報・電子書籍の提供を望む声など、図書館サービスの充実に向けた区民意見が寄せられています。</p>				
		今後の予測	<p>少子・高齢社会が進展する中で、子どもから大人までが集い学ぶ施設として図書館の重要性がますます高まるものと予測されます。</p>			
評価と課題			<p>図書館運営は、民間活力導入等による創意工夫が図られており、利用者アンケート結果等からも全体的に肯定的に受け止められています。 今後ともICTの進展等に対応したサービスの充実を図るほか、高円寺地域の図書館のあり方や現在の施設の老朽化に対応した改修・改築などを計画的に進めていきます。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・対象の見直し			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の進め方	<p>区立施設再編整備計画などに基づき、課題（図書館サービスの情報化、老朽化した図書館改修・改築、高円寺地域の区立図書館のあり方など）へ取り組みを推進していきます。 また、このような検討を踏まえて、当面、指定管理館、業務委託館について現状通りの運営を維持することとして平成27年度に事業者選定を行います。</p>				

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00529)

事務事業名称		社会教育センター維持管理				款	07	項	05	目	02	事業	001	整理番号	553				
現担当課名		生涯学習推進課		係名		社会教育センター		連絡先電話番号		4712		昨年度整理番号		529					
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分		既定事業					
事務事業の概要	事業開始		平成元年度																
	平成26年度担当課名		生涯学習推進課								事業評価区分		施設維持管理						
	対象		社会教育センター		根拠法令等		(1)		社会教育法第3、5条										
							(2)		杉並区立社会教育センター条例										
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		区民の学習の場として、安全で快適に活動できる施設として良好な環境を維持し利用者に提供する。		活動指標		指標名(1)		施設利用回数										
						指標説明													
						指標名(2)													
						指標説明													
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		利用者に対し、社会教育の学習の場を提供すると同時に、一般区民の利用施設として快適で安全な環境を図るため、修繕を含めた施設の適正な維持及び管理を行う。		成果指標		指標名(1)													
						指標説明													
						指標名(2)													
						指標説明													
区分		単位		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成26年度							
				実績		計画		計画(目標値)		実績		計画		対計画比(%)					
指標	活動指標(1)		1 回		5,088		8,664		5,378		8,664		4,951		10,914		57.1		
	活動指標(2)		2																
	成果指標(1)		3																
	成果指標(2)		4																
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		60,270		68,022		64,116		71,053		68,654		67,445		平成26年度 予算執行率(%) 96.6		
	(内)投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		0		特記事項		
	(内)委託費		7 千円		42,932		48,493		45,291		51,824		50,532		47,243		活動指標(1)施設利用回数は、平成27年1月から使用区分が3区分から4区分に改正されたことによるためです。 ・開館日×4区分×7室数(ただし、ホール、リハーサル室については3区分)		
	職員数	常勤職員数		8 人		0.88		0.80		0.88		0.80		0.86		0.80			
		再任用職員数		9 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00			
		非常勤職員数		10 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00			
	人件費	常勤職員分		11 千円		7,656		6,904		7,594		7,048		7,577		7,048			
		再任用職員分		12 千円		0		0		0		0		0		0			
		非常勤職員分		13 千円		0		0		0		0		0		0			
	総事業費(5+11+12+13)		14 千円		67,926		74,926		71,710		78,101		76,231		74,493				
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15 円		13,350		8,648		13,334		9,014		15,397		6,825				
	財源	受益者負担分		16 千円		28,337		27,993		24,553		28,301		22,780		24,092			
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0			
		都からの補助金等		18 千円		0		0		0		0		0		0			
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0					
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円		28,337		27,993		24,553		28,301		22,780		24,092					
差引:一般財源(14-20)		21 千円		39,589		46,933		47,157		49,800		53,451		50,401					
受益者負担比率(16÷14)		22 %		41.7		37.4		34.2		36.2		29.9		32.3					

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 553

平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託			46,882
		光熱水費			15,026
		施設維持経費（修繕費、消耗品、使用料）			6,746
		その他（ ）			
(2) 事業実績	<p>ホールの居住性・安全性向上のため、昨年に引続きホール椅子の張替を行い、ドアの調整、消防点検指摘事項への迅速な対応を行いました。また、数年来課題になっていた空調機器の老朽化対応、部品の交換、さらには落雷による停電に備えた電気設備の大規模改修も実施しました。経年劣化が進む施設を快適に保てるよう積極的に小修繕等を行い、適切な維持管理に努めています。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	<p>数年来課題となっている舞台照明関係の危険個所や、エレベーターの老朽化に対応ができていません。開館から四半世紀以上が経過し、機械、設備、建築、電気など、あらゆる面で老朽化が進み、全面改修までの間、区民に供用出来る状態の維持は困難です。特にホールの舞台関係は、昭和末に導入した機器やシステムをそのまま使用しているケースも多いため、故障が多いばかりでなく、出演者の要望に応じられない場面も出ています。有料公演も行うプロ仕様の舞台としては限界がきています。</p>	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00530)

事務事業名称		郷土博物館の維持管理				款	07	項	05	目	02	事業	002	整理番号	554		
現担当課名		生涯学習推進課		係名		郷土博物館		連絡先電話番号		3317-0841		昨年度整理番号		530			
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分		既定事業			
事務事業の概要	事業開始		平成元年度														
	平成26年度担当課名		生涯学習推進課								事業評価区分		施設維持管理				
	対象		博物館利用者		根拠法令等		(1)		博物館法								
							(2)		杉並区立郷土博物館条例								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		歴史的・文化的資料を適切な状態で保存・展示し、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。		活動指標		指標名(1)		開館日数								
						指標説明											
						指標名(2)											
						指標説明											
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		本館、分館、西田小学校郷土資料展示室、松ノ木遺跡、館外収蔵庫4か所の維持管理		成果指標		指標名(1)											
						指標説明											
						指標名(2)											
						指標説明											
区分		単位		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成26年度					
				実績		計画		計画(目標値)		実績		計画		対計画比(%)			
指標	活動指標(1)		1 日		294		293		293		294		273		296		
	活動指標(2)		2														
	成果指標(1)		3														
	成果指標(2)		4														
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		33,087		42,951		41,032		49,347		48,632		35,964		
	(内)投資的経費等		6 千円		485		10,095		9,005		16,300		15,966		1,080		
	(内)委託費		7 千円		22,503		25,343		24,788		33,259		33,042		23,098		
	職員数	常勤職員数		8 人		1.02		1.00		1.01		1.00		1.02		1.00	
		再任用職員数		9 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
		非常勤職員数		10 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
	人件費	常勤職員分		11 千円		8,874		8,630		8,716		8,810		8,986		8,810	
		再任用職員分		12 千円		0		0		0		0		0		0	
		非常勤職員分		13 千円		0		0		0		0		0		0	
	総事業費(5+11+12+13)		14 千円		41,961		51,581		49,748		58,157		57,618		44,774		
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15 円		141,075		141,590		139,055		142,371		152,571		147,615		
	財源	受益者負担分		16 千円		35		31		33		30		33		30	
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0	
		都からの補助金等		18 千円		0		0		0		0		0		0	
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0			
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円		35		31		33		30		33		30			
差引:一般財源(14-20)		21 千円		41,926		51,550		49,715		58,127		57,585		44,744			
受益者負担比率(16÷14)		22 %		0.1		0.1		0.1		0.1		0.1		0.1			
													平成26年度予算執行率(%)		98.6		
													特記事項				

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 554

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	施設保守管理委託	2	館	21,807
		光熱水費	2	館	9,089
		施設維持管理	2	館	17,736
	(2) 事業実績	その他（ ）			
	(2) 事業実績	節電、節水、クールビズなどにより、効率的な維持管理に努めました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
	評価と課題	<p>本館及び分館等を適正に維持管理するため、職員による建物の保守管理及び不良個所の早期発見・早期対策に努めていますが、本館は開設以来25年が経過しているため、想定外の故障も発生します。また、本館に収蔵しきれない収蔵資料については、現在4つの学校の余裕教室を利用して収蔵していますが、学校施設の地域活用が拡充されることから、恒久的な収蔵スペースを確保するため、関係機関と協議していく必要があります。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
	今後の進め方				

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00531)

事務事業名称		図書館施設維持管理			款	07	項	05	目	02	事業	003	整理番号	555	
現担当課名		中央図書館		係名	管理係			連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	531			
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和27年度			主要事業(区政経営報告書掲載事業)										
	平成26年度担当課名	中央図書館			事業評価区分 施設維持管理										
	対象	図書館利用者及び団体(学校、保育園、ゆうゆう館など)			根拠法令等	(1)	図書館法								
						(2)	杉並区立図書館条例								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	図書館利用者等に、安全で快適な施設利用環境を提供する。			活動指標	指標名(1)	開館日数(全館累計)			指標説明					
					指標名(2)	利用者数(全館累計)			指標説明						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)				成果指標	指標名(1)									
	施設の適正な維持管理を行い、図書館利用者等の安全性及び利便性の向上を図る。				指標説明										
					指標名(2)										
					指標説明										
区分	単位	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	日	4,183	4,322	4,321	4,318	4,318	4,336	100.0					
	活動指標(2)	2	人	2,772,584	3,060,000	2,769,031	3,090,000	2,833,348	3,100,000	91.7					
	成果指標(1)	3													
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	132,331	145,112	140,419	152,156	147,706	155,940	平成26年度 予算執行率(%)	97.1				
	(内)投資的経費等	6	千円	3,471	4,783	2,519	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	78,448	82,582	78,395	85,061	80,770	91,295						
	職員数	常勤職員数	8	人	5.24	4.00	4.23	4.00	4.21	4.00					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	45,588	34,520	36,505	35,240	37,090	35,240					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	177,919	179,632	176,924	187,396	184,796	191,180						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	41,704	40,456	40,362	43,399	42,797	44,091						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	177,919	179,632	176,924	187,396	184,796	191,180						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	555
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		設備保守管理委託	7	館	77,834
		光熱水費	7	館	52,807
		施設修繕・消耗品等購入	7	館	7,903
	その他(賃借料ほか)			9,162	
(2) 事業実績	中央図書館及び地域図書館における光熱水費の支払い業務のほか、清掃業務委託や警備委託などの施設管理業務、事務機器等の賃借、施設の修繕などを実施しています。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)				
	今後の予測				
評価と課題	老朽化した中央図書館の空調機の交換など、各図書館の実情に即して適切な維持管理に努めています。実行計画、区立施設再編整備計画などに基づき、蔵書の適正化、ICTを活用したサービスを検討・具体化するとともに、老朽化施設の改築・改修等に計画的に対応していきます。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性			
	今後の進め方	II 事業の改善の方向性			

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00532）

事務事業名称		生涯スポーツ振興事業			款	07	項	06	目	01	事業	001	整理番号	556	
現担当課名		スポーツ振興課			係名	事業係			連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	532		
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和37年度			主要事業（区政経営報告書掲載事業）										
	平成26年度担当課名	スポーツ振興課			事業評価区分 一般										
	対象	スポーツをする機会の少ない人及びスポーツ団体・競技者			根拠法令等	(1)		社会教育法第3、5条、スポーツ基本法第22条、32条							
						(2)		杉並区スポーツ推進委員に関する規則、杉並区スポーツ栄誉顕彰要綱							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	生涯スポーツ振興事業を通して、スポーツ実施者の拡大を図ると共に、事業の運営等への参画・協働の仕組みを充実させ、様々な立場でスポーツに関わる人を増やすことで、人と人とのつながりを広げ、スポーツによる地域づくりを目指す。			活動指標	指標名（1）		各種生涯スポーツ事業回数							
					指標説明		共催件数								
					指標名（2）										
					指標説明										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	スポーツ推進委員：公募により委嘱したスポーツ推進委員は、地域拠点活動、綱引き大会、キンボール交流大会、子どもの体力アップなどの事業を企画・実施する。 駅伝大会：中学校対抗駅伝、すぎなみ名物ファミリー駅伝を開催する。 区民歩こう会：春2回、秋1回開催する。 わいわいスポーツ教室：年6回開催する。			成果指標	指標名（1）		各種事業参加者数・スポーツ栄誉章被顕彰者数								
					指標説明		生涯スポーツ振興事業10事業の延べ参加者数								
					指標名（2）		各種事業ボランティア等人数								
					指標説明		生涯スポーツ振興事業9事業の実行委員・ボランティアの延べ人数								
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度	対計画比(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標（1）	1 回	48	46	50	46	35	35	76.1						
	活動指標（2）	2 件	35	35	36	37	37	36	100.0						
	成果指標（1）	3 人	3,635	5,600	4,906	3,000	2,333	1,900	77.8						
	成果指標（2）	4 人	388	463	822	558	592	490	106.1						
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	33,119	35,126	31,727	28,419	23,854	26,913	平成26年度予算執行率(%)	83.9					
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内) 委託費	7 千円	7,462	7,574	6,718	1,001	934	142	成果指標(1)の10事業は以下のとおり。 スポーツ推進委員地域拠点活動 綱引き大会 キンボール交流大会 子どもの体力アップ 中学生対抗駅伝大会 すぎなみ名物ファミリー駅伝 区民歩こう会 わいわいスポーツ教室						
	職員数	常勤職員数	8 人	5.06	4.65	4.97	4.65	4.86	4.65						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.15						
		非常勤職員数	10 人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	44,022	40,130	42,891	40,967	42,817	40,967						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	608						
		非常勤職員分	13 千円	2,750	2,780	2,780	2,830	2,830	2,830						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	79,891	78,036	77,398	72,216	69,501	71,318							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15 円	1,664,396	1,696,435	1,547,960	1,569,913	1,985,743	2,037,657							
	財源	受益者負担分	16 千円	498	600	900	500	515	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	908	3,978	3,895	31	72	0						
その他の補助金等		19 千円	10,230	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	11,636	4,578	4,795	531	587	0							
差引：一般財源(14-20)		21 千円	68,255	73,458	72,603	71,685	68,914	71,318							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.6	0.8	1.2	0.7	0.7	0.0	また、は、27年度よりスポーツ振興財団へ事業を移管するため、活動指標(1)・成果指標(1)(2)の平成27年度計画値は減少している。スポーツ祭東京2013事業は平成25年度で事業が終了した。							

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	556
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		体育団体活動の奨励	28	事業	4,095
		交流自治体とのスポーツ交流(中学生軟式野球、バレーボール)	231	人	6,877
		中学校対抗駅伝	429	人	6,180
		スポーツ推進委員	20	人	3,068
		その他(区民歩こう会、わいわいスポーツ教室、スポーツ栄誉章 ほか)			3,634
平成26年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>区民や団体、スポーツ推進委員等の参画により、スポーツ振興事業を実施しています。中学生親善野球大会では、台湾台北市・南相馬市・名寄市に加え、南伊豆町が初参加するとともに、昨年の事業参加者やその保護者らが運営ボランティアとして大会を支えました。中学校対抗駅伝は急遽、衆議院議員選挙と日程が重複することとなり、コースを縮小して開催しました。ファミリー駅伝大会は雨天のため中止でした。体育団体等に対し、共催事業37件、後援事業115件の活動助成を行いました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>【区民意向調査】 (5年前との比較) 健康状態について、「非常に健康である」「だいたい健康である」の割合 H21:85.2% H26:87.5% ボランティア活動について、「活動してみたいと思う」人の割合 H21:45.3% H26:42.0% 取り組んでいる社会参加活動について、「スポーツ活動」をあげた人の割合 H21:23.1% H26:24.9%</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>成果指標(2)の数値は減少しましたが、わいわいスポーツ教室のボランティア等人数は前年度から50人増え、過去最高の人数となりました。ボランティアからは、やりがいや元気につながるなどの声が増えています。</p>			
	今後の予測	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた報道等が多くなることにより、スポーツを実施することだけでなく、スポーツをテレビやスタジアムで観戦するなど、スポーツ全般に対する関心がより高まることが予想されます。また、東京マラソンが募集する1万人のボランティアが応募者多数で数日で定員に達するなど、人々がスポーツボランティアという形でスポーツに関わる新たなスタイルができつつあります。健康スポーツライフ杉並プランが目指す、スポーツや運動を「する」「観る」「応援する」「支える」「育てる」「誘う」などの多様な活動を通じた、認め合い支えあう、豊かで活力に満ちた地域社会の形成に向けた追い風になっています。</p>			
評価と課題	<p>スポーツ祭東京2013事業が終了したことに伴い、ボランティア等人数は230人減少していますが、スポーツ活動はボランティアや実行委員など様々な支える活動により成り立っており、参加者の増加に向けた取組だけでなく、健康スポーツライフ杉並プランの重点取組である「スポーツを支える活動の推進」のため、個々の事業において区民参画を促す更なる工夫を図ります。スポーツ基本法において地域における連絡調整(コーディネーター)役を担うこととなったスポーツ推進委員については、より地域に密着した活動・役割を担うべく、地域団体等との連携・調整を重ねていますが、計画の着実な推進のために更なる委員の増員が必要です。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
今後の進め方	<p>健康スポーツライフ杉並プランの新規事業として実施したすぎなみスポーツアカデミーにより育成した人材に対して、ボランティアやスポーツ推進委員の募集案内を積極的に行うなど、スポーツアカデミーとも連携を図りながら、区民が自主的・主体的にスポーツに関わることができる環境づくりを行っていきます。スポーツ推進委員は、地域住民の相談役として更に力を発揮できるよう、地域に密着した取組を継続すると共に、その活動の魅力を対外的に発信するなど、委員の増員に向けた取組を行います。</p>				

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00533)

事務事業名称			公益財団法人杉並区スポーツ振興財団への助成				款	07	項	06	目	01	事業	002	整理番号	557
現担当課名		スポーツ振興課		係名		施設管理係		連絡先電話番号		1676		昨年度整理番号		533		
上位施策No・施策名											29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分		既定事業	
事業開始		平成5年度														
平成26年度担当課名		スポーツ振興課										事業評価区分		一般		
対象				公益財団法人杉並区スポーツ振興財団		根拠法令等		(1)		社会教育法第3、5条		(2)		スポーツ基本法第34条		
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)			活動指標			指標名(1)			教室系事業の開催数						
	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団が、その設立目的であるスポーツ振興に関する事業を活発に行うことができるよう、補助金を支出し、財団の安定的な運営に役立			指標説明			教室系事業の種目数									
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)			成果指標			指標名(1)			各種教室参加者数						
	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団に対して、スポーツ振興に関する事業を実施するにあたり、必要な経費を助成する。「各種スポーツ教室・講座及び各種大会の運営に関する事業」、「スポーツ関係団体の育成・支援及び指導者の養成事業」、「スポーツ振興のための普及啓発事業」等を実施。			指標説明			指標名(2)			区民体育祭等参加者数						
						指標説明			大会系事業の延べ参加者数							
区分		単位	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成26年度					
			実績		計画		計画(目標値)		実績		計画		対計画比(%)			
指標	活動指標(1)		1	教室	186	202	183	230	218	304	94.8					
	活動指標(2)		2	種目	98	110	107	96	96	129	100.0					
	成果指標(1)		3	人	74,913	105,737	79,332	80,000	71,035	80,000	88.8					
	成果指標(2)		4	人	33,479	35,082	38,494	37,000	24,967	37,000	67.5					
事業費		5	千円	67,897	70,974	64,439	78,560	78,560	81,037	平成26年度 予算執行率(%)		100.0				
(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
(内)委託費		7	千円	0	0	0	0	0	0	スポーツ振興財団が管理している施設が26年度から2施設減(妙正寺体育館・大宮前体育館)となったことにより、イベント開催数が減ったため、成果指標の「区民体育祭等の参加者数」が減った。						
職員数	常勤職員数		8	人	0.36	0.34	0.30	0.30	0.30	0.40						
	再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	非常勤職員数		10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
人件費	常勤職員分		11	千円	3,132	2,934	2,589	2,643	2,643	3,524						
	再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0	0						
	非常勤職員分		13	千円	0	0	0	0	0	0						
総事業費		14	千円	71,029	73,908	67,028	81,203	81,203	84,561							
単位あたりコスト		15	円	381,876	365,881	366,273	353,057	372,491	278,161							
財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0	0						
	国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0						
	都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0						
	その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
	特定財源計		20	千円	0	0	0	0	0	0						
	差引：一般財源		21	千円	71,029	73,908	67,028	81,203	81,203	84,561						
受益者負担比率		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	557	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費(千円)
		運営等補助		1	団体	78,560
(2) 事業実績	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団の円滑な事業運営のため、補助金を交付する。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>昭和61年10月から任意団体の杉並区スポーツ振興会が、体育施設の管理運営を受託していましたが、平成5年10月に組織の法人化を図り、財団法人杉並区スポーツ振興財団として引続き体育施設の管理運営を行うとともに、より広範囲な区民のスポーツ活動を支援することになりました。</p> <p>平成18年度に指定管理者制度を導入し、補助金のうち、施設の管理運営にかかる経費を別途支出することとしました。</p> <p>平成24年4月から、より公益性を高めるため公益財団法人に移行しました。</p> <p>平成26年10月にスポーツ振興財団として26年度から3年間の杉並区スポーツ推進プランを策定し、計画的に区民へのスポーツを推進していくこととしました。</p>				
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>より公益性の高い事業やサービスを提供するため、スポーツを行う機会の少ない障害者に水泳教室、ユニカール、バスケットボールなどの教室を行いました。また、子どもたちのスポーツ普及の要望に応え、放課後チャレンジスポーツ教室、学校・児童館へのスポーツ専門家派遣事業、中学校の部活動活性化事業、未就学児を対象とした体操教室などの拡充を図りました。</p> <p>オリンピックの気運醸成を図るため、すぎなみフェスタでイベントを行いました。</p>				
	今後の予測	<p>2020年の東京でのオリンピック・パラリンピックの開催、健康意識の高まりなど、社会における運動・スポーツの必要性がますます高まっていくと予測されます。子供、高齢者、障害者など対象のニーズに応じた事業の提供を行うとともに、スポーツに関する地域の情報の収集・発信、人材育成など多くの区民が安全にスポーツ・運動を楽しめる環境整備していくことが求められています。</p>				
評価と課題	<p>スポーツ分野の人材育成としてスポーツアカデミーを実施するとともに、スポーツ振興財団が管理していない体育施設において障害者対象の事業や団体との協働事業など、公益財団法人として公益性の高い事業を実施しました。今後はさらに、生涯にわたり区民のスポーツライフを支援するよう、様々な教室の開催、情報の提供、ボランティアの育成、スポーツネットワークの構築など幅広い課題に取り組んでいきます。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)			
今後の進め方	<p>区のスポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」では、スポーツ振興財団を計画推進の最も重要な実施主体と位置付けています。生涯にわたり区民が自主的・継続的にスポーツに親しむことができるよう、民間スポーツ事業者と異なる視点や、地域スポーツ団体を育成する視点から、より公益的なスポーツ振興事業を担っていきます。</p> <p>また、指定管理者制度の運用状況を見極めながら、スポーツ振興財団はどう対応していくか、平成29年4月からの次期指定管理者公募に向けて、今後のスポーツ振興財団のあり方を検討していきます。</p>					

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00534）

事務事業名称		スポーツ推進計画				款	07	項	06	目	01	事業	003	整理番号	558						
現担当課名		スポーツ振興課		係名		施設管理係		連絡先電話番号		1676		昨年度整理番号		534							
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分		既定事業							
事務事業の概要	事業開始		平成24年度		実行計画事業		目標 05		施策 29		計画事業 01		主要事業（区政経営報告書掲載事業）								
	平成26年度担当課名		スポーツ振興課										事業評価区分 一般								
	対象		区民 スポーツ関係団体		根拠法令等		(1) (2)						スポーツ基本法第9条								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		スポーツ・運動が、区民により身近になることで健康維持に役立ち、さらに地域のつながり・交流に結び付くよう、スポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」を推進する。		活動指標		指標名（1）		指標説明		指標名（2）		指標説明		スポーツアカデミー参加者数(26年度新規) (仮称)スポーツ推進計画策定委員会の開催(26年度からは推進懇談会)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		策定委員会、区民等の意見提出手続の結果等を踏まえ、平成25年9月に策定したスポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」を推進する。2020年のオリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定したことに合わせ、区民に普及・啓発を行う。スポーツ分野の人材育成プログラム「すぎなみスポーツアカデミー」を開催する。		成果指標		指標名（1）		指標説明		指標名（2）		指標説明		成人の週1回以上のスポーツ・運動実施率 区民意向調査による						
区分		単位		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成26年度									
				実績		計画		計画 (目標値)		実績		計画		対計画比(%)							
指標	活動指標（1）		1 人		0		0		230		203		260		88.3						
	活動指標（2）		2 回		7		2		2		0		0		0.0						
	成果指標（1）		3 %		39.7		40.0		40.0		41.7		41.7		104.3						
	成果指標（2）		4																		
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		3,312		2,542		2,076		4,807		3,342		5,672		平成26年度 予算執行率(%)		69.5		
	(内) 投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		0				特記事項		
	(内) 委託費		7 千円		2,536		670		615		3,825		3,246		4,202				24年度は、区民アンケートなど策定にあたっての事業費であったが、25年度は計画の普及啓発イベント等の事業費である。		
	職員数	常勤職員数		8 人		1.31		1.37		1.06		0.50		0.40		0.60					
		再任用職員数		9 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.10					
		非常勤職員数		10 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00					
	人件費	常勤職員分		11 千円		11,397		11,823		9,148		4,405		3,524		5,286					
		再任用職員分		12 千円		0		0		0		0		0		405					
		非常勤職員分		13 千円		0		0		0		0		0		0					
	総事業費 (5+11+12+13)		14 千円		14,709		14,365		11,224		9,212		6,866		11,363						
	単位あたりコスト (14-6)÷1		15 円		0		0		0		40,052		33,823		43,704						
	財源	受益者負担分		16 千円		0		0		0		0		0		0					
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0					
		都からの補助金等		18 千円		0		0		0		0		0		0					
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0							
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円		0		0		0		0		0		0							
差引：一般財源 (14-20)		21 千円		14,709		14,365		11,224		9,212		6,866		11,363							
受益者負担比率 (16÷14)		22 %		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		558	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		スポーツアカデミーの運営			
	(2) 事業実績	<p>平成25年9月に、策定委員会、区民アンケート結果、関係団体の意見、区民等の意見提出手続の結果等を踏まえ、スポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」を策定し、2020年のオリンピック・パラリンピックの東京開催と合わせ、計画の普及啓発を行いました。そして、平成26年10月からは、同計画の新規事業として、スポーツ分野の人材育成プログラム「すぎなみスポーツアカデミー」を開催し、指導者・コーディネーターの養成、小学生親子・障害者スポーツ推進者への講座を実施しました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>基本構想・総合計画及び教育ビジョン2012に基づき、平成23年8月に施行された「スポーツ基本法」に定める地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画（地方スポーツ推進計画）を策定することとされています。また、区民の健康意識の高まりとともに、平成25年9月に2020年のオリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定したこともあり、区民のスポーツ・運動への関心が高まっています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>平成25年6～7月の区民等の意見提出手続の結果等では、全体的には肯定的で、ぜひ計画を実現してほしいとの声が多く寄せられました。特に、地元のトップアスリートと連携した事業の展開、誰もが参加しやすいようなスポーツ・運動機会の充実、指導者の養成、民間施設の活用も含めた体育施設の整備などに意見が多く寄せられました。</p>			
	今後の予測	<p>平成26年度開始した「すぎなみスポーツアカデミー」を拡充するとともに、27年度には新たに「スポーツはじめキャンペーン」を実施するなど、計画の重点となる事業を実施し、計画を着実に推進していきます。計画の推進にあたっては、27年度には、スポーツ関係の有識者・トップアスリートなどからなる「スポーツライフ杉並推進懇談会」を開催し幅広く意見を聴取するとともに、関係部署が連携しながら取り組んでいきます。</p>			
評価と課題		<p>区民の健康意識の高まり、2020年のオリンピック・パラリンピックの東京での開催など、より多くの区民がスポーツ・運動に関心を寄せており、本計画を展開する環境が整っています。平成26年度に計画の新規事業としてスポーツ分野の人材育成プログラム「すぎなみスポーツアカデミー」を開催しました。今後さらに計画を推進していくため、スポーツ関係の有識者・トップアスリートなどからなる「スポーツライフ杉並推進懇談会」を開催するとともに、地域の関係団体、関係部署と連携・協力し、「スポーツはじめキャンペーン」など、計画の重点となる事業を実施し、計画を着実に推進していきます。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	対象外		
	今後の進め方	<p>より多くの区民が自主的・継続的にスポーツ・運動に親しむことで健康づくりができ、スポーツ・運動をきっかけに地域における信頼関係が育まれることを目指します。そのために、計画に基づき、地域のスポーツ団体のネットワークづくりや指導者養成、区民の自主的・主体的な活動を支援などを行っていかれるよう、計画の進行管理や評価を行うとともに、必要に応じて計画の見直し・改善を行っていきます。</p>			

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00670)

事務事業名称		次世代トップアスリートの育成			款	07	項	06	目	01	事業	004	整理番号	559		
現担当課名		スポーツ振興課			係名	事業係			連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号				
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり			予算事業区分	臨時事業		
事務事業の概要	事業開始	平成26年度			主要事業(区政経営報告書掲載事業)											
	平成26年度担当課名	スポーツ振興課			事業評価区分 一般											
	対象	次世代のトップアスリートを目指す青少年等			根拠法令等	(1)		杉並区次世代トップアスリート育成・支援検討会設置要領								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、次世代のトップアスリートを目指す青少年等を地域ぐるみで育成・支援することで、オリンピック・パラリンピック競技大会への機運を高め地域を活性化するとともに、青少年の健全育成を図る。			活動指標	指標名(1)		次世代トップアスリート育成・支援検討会の開催								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	杉並区次世代トップアスリート育成・支援検討会 オリンピック出場経験者からの実技指導、パラリンピック種目体験などを通じて、スポーツ、オリンピック・パラリンピックを総合的に学ぶとともに、新たな高みへチャレンジするきっかけを提供する「育成プログラムによる環境づくり(チャレンジ・アスリート)」			指標説明	指標名(2)										
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	回			2	2	2	100.0							
	活動指標(2)	2														
	成果指標(1)	3	人			70	74	80	105.7							
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円			6,000	3,398	6,000	平成26年度 予算執行率(%)	56.6						
	(内)投資的経費等	6	千円			0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	7	千円			734	322	0	事業開始初年度であるため、育成プログラムによる環境づくりを試行的に実施したので、予算執行率が56.6%にとどまっています。							
	職員数	常勤職員数	8	人			0.60	0.65	0.60							
		再任用職員数	9	人			0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10	人			0.00	0.00	0.00							
	人件費	常勤職員分	11	千円			5,286	5,727	5,286							
		再任用職員分	12	千円			0	0	0							
		非常勤職員分	13	千円			0	0	0							
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円			11,286	9,125	11,286								
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円			5,643,000	4,562,500	5,643,000								
	財源	受益者負担分	16	千円			0	0	0							
		国からの補助金等	17	千円			0	0	0							
		都からの補助金等	18	千円			0	0	0							
その他の補助金等		19	千円			0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円			0	0	0								
差引:一般財源(14-20)		21	千円			11,286	9,125	11,286								
受益者負担比率(16÷14)	22	%			0.0	0.0	0.0									

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 559

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	チャレンジ・アスリート	28	人	2,782
		オリンピック教育（公開講座）	24	人	40
		実施報告書の印刷	600	部	485
		その他（ ）			91
	(2) 事業実績	<p>「夢に向かって自らの意思でスポーツを選びチャレンジする子ども」を育成するため、オリンピック・パラリンピアンから聞き取り調査を行い、その声を生かして、スポーツ、オリンピック・パラリンピックを総合的に学ぶ「チャレンジ・アスリート」を開催しました。パラリンピック種目体験は、済美養護学校にも声かけを行い、2人の生徒が参加しました。スポーツメーカーや義肢装具の製作現場、アスリートのマネジメント業務などスポーツ分野の職場見学を計6回行いました。また、講師と参加者がメッセージカードのやりとりを行い、交流を深めました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成25年9月に2020年のオリンピック・パラリンピック開催地が東京に決定するとともに、杉並区スポーツ振興計画「健康スポーツライフ杉並プラン」を策定しました。また、次世代トップアスリート育成・支援検討会を行い、基礎自治体としての取組はごく一部のスポーツ・エリート育成ではなく、誰もが参加可能な育成プログラムによる環境づくりを行うこと、将来的に国際大会等への出場支援を検討すること、次世代育成基金の更なる充実を視野に入れること、を確認しました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>国際大会等への参加費支援などスポーツを極める子どもたちへの直接的な支援や、子どもを取り巻く指導者の質の向上を求める声が上がっています。</p>			
	今後の予測	<p>2016年に開催されるリオデジャネイロ大会、2020年に開催される東京大会を契機に、スポーツに対する関心が更に高まることが予想されます。また、東京大会の遺産（レガシー）として、心身の成長が著しいジュニア期のスポーツ環境を向上させていく必要があります。</p>			
	評価と課題	<p>トップアスリートやアスリートに関わる大人たちの姿が、子どもたちに感動と希望を与え、スポーツの楽しさを再確認する機会となっています。そのため、タレント発掘（選手育成）にとどまらないスポーツによる次世代育成として内容の充実を図り、参加の輪を広げていきます。また、この取組を通じて次世代育成基金の周知を行うとともに、取組を行う中で育ってきた子どもたちの可能性をさらに広げるため、国際大会等への参加支援についての仕組みを整えていきます。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	<p>「育成プログラムによる環境づくり」は内容の充実を図り、子どもたちが夢を育む環境を整えていきます。また、スポーツ分野の人材育成プログラムであるすぎなみスポーツアカデミーと連携する仕組みを検討し、子どもたちの夢を支える環境の向上を図っていきます。他の次世代育成基金活用事業とも連携して、基金の取組を周知することにより、基金の更なる充実・循環に寄与していきます。国や東京都のジュニアアスリート育成・支援策等の動向も踏まえ、国際大会等への参加費支援などスポーツを極める子どもたちへの直接的な支援策について検討を行い、具体化していきます。</p>			

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00535）

事務事業名称 体育施設の維持管理			款 07	項 06	目 02	事業 001	整理番号 560			
現担当課名 スポーツ振興課		係名 施設管理係		連絡先電話番号 1676		昨年度整理番号 535				
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始 昭和30年度						主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
	平成26年度担当課名 スポーツ振興課						事業評価区分 施設維持管理			
	対象 施設利用者（区民、団体等）		根拠法令等 (1) 社会教育法第3、5条 (2) スポーツ基本法第12条							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか） 施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。		活動指標 指標名（1） 延べ利用者数 指標説明 指標名（2）							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段） 指定管理者制度導入施設：下高井戸運動場、上井草スポーツセンター、高井戸温水プール、高円寺体育館、永福体育館、荻窪体育館、大宮前体育館 業務委託施設：松ノ木運動場ほか2施設、杉並第十小学校温水プール、和田堀公園プール、阿佐谷けやき公園プール、（暫定）富士見ヶ丘運動場、（暫定）久我山運動場、（暫定）遊び場106番運動場 公園施設：馬橋公園運動広場ほか3施設 休館中：妙正寺体育館		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明							
区分		単位	平成24年度実績	平成25年度計画	平成25年度実績	平成26年度計画（目標値）	平成26年度実績	平成27年度計画	平成26年度対計画比（%）	
指標	活動指標（1）	1 人	1,521,639	1,550,000	1,520,753	1,550,000	1,564,206	1,563,000	100.9	
	活動指標（2）	2								
	成果指標（1）	3								
	成果指標（2）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	782,404	782,565	762,936	955,418	918,969	944,155	平成26年度予算執行率(%) 96.2	
	（内）投資的経費等	6 千円	47,409	5,465	4,988	36,134	33,183	27,000	特記事項 大宮前体育館移転改築して平成26年4月から指定管理者による運営開始。体育館、温水プール、トレーニングルーム等。なお、平成25年度に4か月間、開設準備として業務委託費、光熱水費等を支出した。旧大宮前体育館体育館のみ。24・25年度は業務委託で運営していたが、平成26年3月31日をもって閉館。妙正寺体育館改築工事に伴い、平成26年4月から平成28年秋頃まで休館予定。上井草スポーツセンター指定管理者より収益還元あり。	
	（内）委託費	7 千円	678,690	662,422	655,825	836,165	819,984	826,838		
	職員数	常勤職員数	8 人	2.36	2.17	2.76	2.00	3.78		2.10
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.90	0.90	0.80	0.80	0.80		0.80
	人件費	常勤職員分	11 千円	20,532	18,727	23,819	17,620	33,302		18,501
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	2,475	2,502	2,224	2,264	2,264		2,264
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	805,411	803,794	788,979	975,302	954,535	964,920		
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15 円	498	515	516	606	589	600		
	財源	受益者負担分	16 千円	84,664	80,887	91,680	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	84,664	80,887	91,680	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	720,747	722,907	697,299	975,302	954,535	964,920		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	10.5	10.1	11.6	0.0	0.0	0.0			

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	560
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		管理運営（指定管理者）高円寺体育館ほか3施設	4	施設	127,158
		管理運営（指定管理者）上井草スポーツセンター	1	施設	173,110
		管理運営（指定管理者）大宮前体育館	1	施設	135,195
		管理運営（指定管理者）高井戸温水プール	1	施設	93,233
		その他（維持管理経費、業務委託費ほか）			390,273
	(2) 事業実績	<p>体育の日には9施設でイベントを開催し、延べ9,523名が来場しました。 大宮前体育館は、旧荻窪小学校跡地に、体育館・温水プール・トレーニングルームなどの設備を備えた体育館として移転改築し、平成26年4月から指定管理者による運営を開始しました。それに伴い旧大宮前体育館は平成26年3月をもって閉館しました。妙正寺体育館は改築工事に伴い、平成26年4月から平成28年秋頃まで休館します。また、平成27年1月に東京都教育委員会との協定を締結し、都立学校体育施設の一部を平成27年度から区民のスポーツ活動に開放することとしました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
	評価と課題	<p>体育施設の指定管理者は4事業者となり、指定管理者がよりよいサービスを競い合えるようになるとともに、公共サービスの担い手としてふさわしいか、より客観的な評価をしていく必要があります。また、平成26年10月に予約システムを改修し、平成27年1月からは受益者負担と施設の効率的な運営の視点から使用料を見直しました。今後、利用者が利用しやすいよう施設整備を図るとともに、限られた施設をより公平に利用できるよう、利用手続きの見直しを行います。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
	今後の進め方				

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00537)

事務事業名称 妙正寺体育館の改築			款 07	項 06	目 03	事業 003	整理番号 561					
現担当課名 スポーツ振興課		係名 体育施設改築準備担当		連絡先電話番号 1678		昨年度整理番号 537						
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分 投資事業						
事務事業の概要	事業開始	平成24年度	実行計画事業 目標 05 施策 29 計画事業 02			主要事業(区政経営報告書掲載事業)						
	平成26年度担当課名	スポーツ振興課				事業評価区分 一般						
	対象	施設利用者(区民、団体等)		根拠法令等	(1)	スポーツ基本法第12条						
					(2)	杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	妙正寺体育館を改築する。		活動指標	指標名(1)	実施設計進捗率						
				指標説明	改築工事進捗率							
				指標名(2)								
				指標説明								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	平成24年度に基本方針の策定、地盤調査・測量、基本設計を行う。 平成25年度に実施設計を行う。 平成26年度は解体工事・埋蔵文化財発掘調査を行い、建設工事に着手する。 平成28年度、竣工・供用開始予定。		成果指標	指標名(1)	改築工事進捗率							
				指標説明								
				指標名(2)								
				指標説明								
区分	単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度				
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)				
指標	活動指標(1)	1	%	0	100	100	0	0	0	0.0		
	活動指標(2)	2	%	0	0	0	20	20	84	100.0		
	成果指標(1)	3	%	0	0	0	20	20	84	100.0		
	成果指標(2)	4										
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	11,820	30,960	30,714	414,028	411,733	529,416	平成26年度 予算執行率(%)	99.4	
	(内)投資的経費等	6	千円	11,820	30,960	30,714	0	0	0	特記事項		
	(内)委託費	7	千円	11,820	30,960	30,714	413,428	411,733	528,816			
	職員数	常勤職員数	8	人	0.20	0.26	0.10	0.10	0.00	0.00		
		再任用職員数	9	人	0.40	1.00	1.00	1.00	0.80	1.00		
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	人件費	常勤職員分	11	千円	1,740	2,244	863	881	0	0		
		再任用職員分	12	千円	1,572	3,860	3,860	4,050	3,240	4,050		
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	15,132	37,064	35,437	418,959	414,973	533,466			
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	0	61,040	47,230	0	0	0			
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0		
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0		
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	5,170	78,980		
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	5,170	78,980			
差引:一般財源(14-20)		21	千円	15,132	37,064	35,437	418,959	409,803	454,486			
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	561	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		解体工事			
		埋蔵文化財試掘調査			1,134
		改築工事			383,492
		工事監理委託			7,100
		その他（物品運搬）			27
事業環境の変化	(2) 事業実績	老朽化した妙正寺体育館を改築するため、既存建物の解体撤去工事と埋蔵文化財試掘調査を実施し、改築工事に着手しました。			
	事業開始当初から現在までの変化	改築を行う敷地の測量調査・登記及び地盤調査を行いました。基本計画、基本設計、既存建物解体工事、改築工事に関する住民説明会をそれぞれ開催し、近隣との調整を図りました。また、26年度から改築工事に着手しました。			
事業環境の変化	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	現在の良好な生活環境が確保される改築が求められています。改築に合わせて施設機能の充実を図り、地域のスポーツの拠点として、高齢者の健康増進や子どもたちの体力向上の場としての役割を担う施設の建設が求められています。			
	今後の予測				
評価と課題		妙正寺体育館の改築工事にあたっては、工事説明会を行い工事に着手しました。今後、平成28年7月の工事竣工に向けて、安全な工事管理と施設開設のための準備を進めていきます。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	その他・対象外		
		II 事業の改善の方向性	対象外		
今後の進め方		近隣や利用者の意見を踏まえ地域に親しまれる体育施設の建設を進めるとともに、平成28年秋の供用開始に向けて、今後の運営方法についても検討していきます。			

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00671）

事務事業名称 永福体育館の移転改修			款 07	項 06	目 03	事業 004	整理番号 562			
現担当課名 スポーツ振興課		係名 体育施設改築準備担当係長			連絡先電話番号 1678	昨年度整理番号				
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり					予算事業区分 投資事業					
事務事業の概要	事業開始	平成26年度								
	平成26年度担当課名	スポーツ振興課			事業評価区分 一般					
	対象	施設利用者（社会体育団体登録構成員、個人登録者等）		根拠法令等 (1) (2)	スポーツ基本法第12条 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	旧永福南小学校跡地に永福体育館を移転改修する。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	地盤調査進捗率 測量調査進捗率					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	平成26年度に地盤及び測量調査を行う。 平成27年度に実施設計を行う。 平成28年度に校舎解体・改修工事予定。 平成29年5月に開設予定。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	地盤調査進捗率 測量調査進捗率					
区分		単位	平成24年度 実績	平成25年度 計画 実績		平成26年度 計画 実績 (目標値)		平成27年度 計画	平成26年度 対計画比(%)	
指標	活動指標（1）	1	%			100	100	0	100.0	
	活動指標（2）	2	%			100	100	0	100.0	
	成果指標（1）	3	%			100	100	0	100.0	
	成果指標（2）	4	%			100	100	0	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円			2,500	1,754	26,035	平成26年度 予算執行率(%) 70.2 特記事項 地盤調査及び測量調査 業務委託の落札差金	
	(内) 投資的経費等	6	千円			0	0	0		
	(内) 委託費	7	千円			2,500	1,754	26,035		
	職員数	常勤職員数	8	人			0.00	0.00		0.00
		再任用職員数	9	人			0.00	0.20		1.00
		非常勤職員数	10	人			0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円			0	0		0
		再任用職員分	12	千円			0	810		4,050
		非常勤職員分	13	千円			0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円			2,500	2,564	30,085		
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15	円			25,000	25,640	0		
	財源	受益者負担分	16	千円			0	0		0
		国からの補助金等	17	千円			0	0		0
		都からの補助金等	18	千円			0	0		0
その他の補助金等		19	千円			0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円			0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円			2,500	2,564	30,085		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%			0.0	0.0	0.0			

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 562

平成26年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	旧永福南小学校跡地整備工事に伴う地盤調査及び測量調査業務委託		
(2) 事業実績	老朽化した永福体育館は、現住所地での改築が関係法令に適合しないため、施設再編整備計画に基づき、旧永福南小学校跡地での移転改修に向けて地盤調査や測量調査を行い、地域の拠点となる旧永福南小学校体育館の改修に取り組みました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	移転改修する旧永福南小学校の敷地について、地盤調査及び測量調査を業者委託で行いました。施設再編整備計画及び旧永福南小学校跡地活用に関する住民説明会を開催し、地域や近隣住民との調整を図っています。
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	地域の核となる施設にするだけでなく、運営も地域のグループが一部携わることが望んでいます。ビーチスポーツのできる屋外運動場の設置が求められています。良好な生活環境が確保されるよう、振動や騒音、工事車両の出入り等を厳重に注意して工事を進めることが求められています。地域のニーズを取り入れ施設機能の充実を図り、地域のスポーツ拠点として子どもから高齢者及び健常者だけでなく障害者も利用できる施設が求められています。
	今後の予測	平成29年5月に運用開始予定となっています。地域のスポーツの拠点及び地域のコミュニティ施設としての役割のほかに、ビーチコートを活用した各種スポーツ教室等により多くの人の健康増進が図れる施設として期待されています。また、東京オリンピックに向けて、ビーチバレーの練習場として規格を整え、さらには海外チームの誘致を目指します。
評価と課題	永福体育館の改築にあたっては、今後の実施設計や改修工事に向けて、住民説明会の開催や近隣住民の意見を聞きながら進め、住民との合意形成に努めます。また、ビーチコートの活用方法については、今年度の実施設計でビーチコートの面積や設備などが明らかになるため、ビーチスポーツの種目や、健康増進のためにはどのようなスポーツ教室が適しているか検討していきます。	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
	今後の進め方	近隣住民や利用者のニーズを踏まえ、地域に親しまれるような体育施設建設を進めます。施設の運用開始に向けて、従来の体育館単独ではなく、体育施設以外の近隣の区立施設とも調整しながら、指定管理者制度のメリットが生かせるよう、十分に検討していきます。	